



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成30年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成30年3月	平成30年6月	前回調査比
茨城県	50.1	49.3	△0.8
県北地域	50.0	51.3	+1.3
県央地域	47.9	49.2	+1.3
鹿行地域	55.5	51.3	△4.2
県南地域	50.9	47.9	△3.0
県西地域	46.5	46.9	+0.4

《景気の先行き判断DI》

	平成30年3月	平成30年6月	前回調査比
茨城県	52.4	51.2	△1.2
県北地域	51.8	50.0	△1.8
県央地域	53.8	50.8	△3.0
鹿行地域	56.8	51.3	△5.5
県南地域	53.5	51.3	△2.2
県西地域	46.1	52.6	+6.5

平成30年7月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	288 人	96.0%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成30年6月調査の調査期間は、平成30年6月5日から平成30年6月30日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは49.3となった。平成30年3月調査(以下、「前回調査」という。)より0.8ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

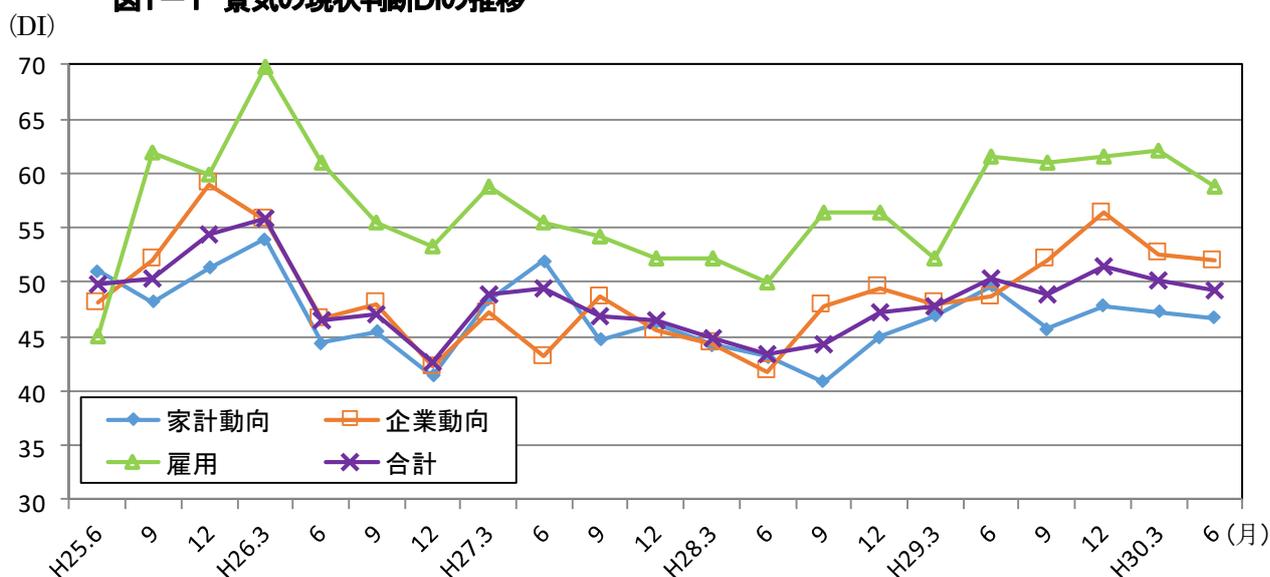
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成29年 6月	平成29年 9月	平成29年 12月	平成30年 3月	平成30年 6月
合計		50.3	48.8	51.5	50.1	49.3
家計動向関連		49.6	45.7	47.8	47.3	46.7
小売関連		50.0	43.6	44.1	48.5	44.9
飲食関連		51.0	43.5	47.9	47.8	45.7
サービス関連		47.4	46.5	49.4	43.8	47.8
住宅関連		61.1	61.1	63.9	66.7	52.8
企業動向関連		48.6	52.0	56.3	52.6	51.9
農林水産業		50.0	57.1	50.0	46.9	59.4
製造業		47.9	54.3	54.6	51.0	52.6
非製造業		49.3	47.9	60.0	56.5	49.3
雇用関連		61.5	60.9	61.5	62.0	58.7

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成29年 6月	2.4%	23.5%	50.3%	20.4%	3.4%
平成29年 9月	1.7%	20.2%	53.8%	20.2%	4.1%
平成29年12月	3.0%	25.3%	50.0%	18.0%	3.7%
平成30年 3月	2.5%	22.8%	51.9%	18.2%	4.6%
平成30年 6月	2.8%	18.1%	56.6%	18.8%	3.8%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.2となった。前回調査より1.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を6期連続で上回った。

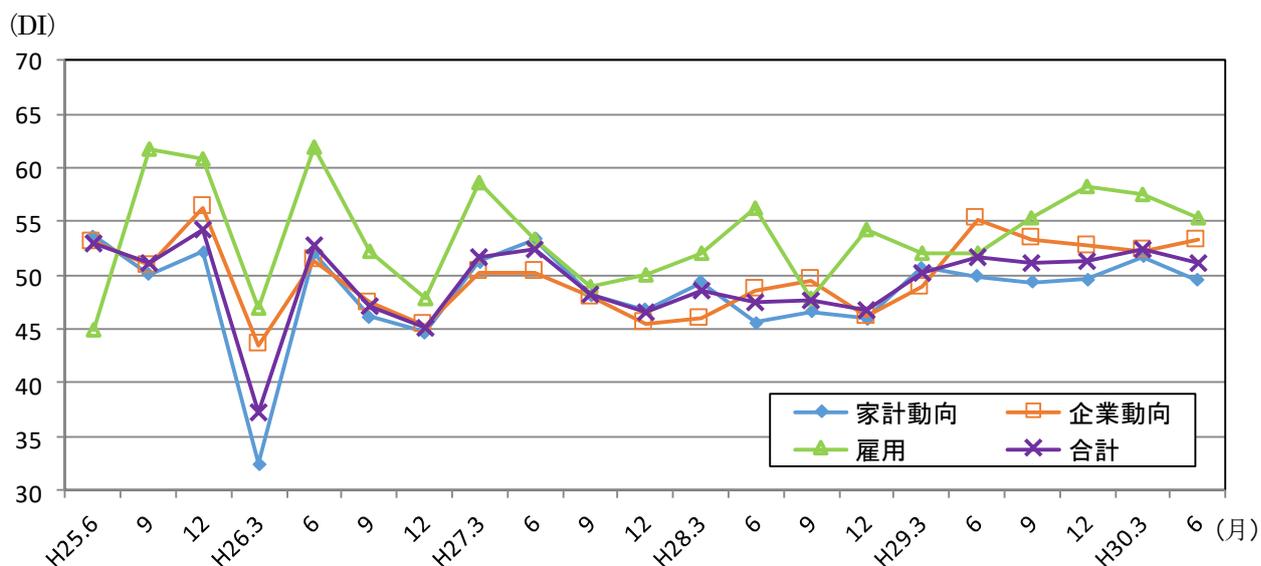
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.7	51.1	51.3	52.4	51.2
家計動向関連		49.9	49.4	49.6	51.7	49.6
小売関連		48.5	45.7	47.2	48.9	50.0
飲食関連		56.3	54.3	46.9	54.3	45.7
サービス関連		48.7	51.0	52.2	52.0	48.4
住宅関連		52.8	52.8	52.8	63.9	66.7
企業動向関連		55.2	53.4	52.7	52.3	53.3
農林水産業		68.8	60.7	46.9	53.1	56.3
製造業		53.1	52.1	54.1	52.1	53.6
非製造業		55.0	53.6	52.1	52.4	52.2
雇用関連		52.1	55.4	58.3	57.6	55.4

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.7%	23.1%	58.8%	12.9%	3.4%
平成29年 9月	2.1%	20.9%	59.6%	14.4%	3.1%
平成29年12月	2.7%	18.0%	63.3%	13.7%	2.3%
平成30年 3月	2.1%	25.6%	56.1%	11.9%	4.2%
平成30年 6月	1.0%	22.9%	58.3%	15.3%	2.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは51.3となった。前回調査より1.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.7	52.5	53.3	50.0	51.3
	家計動向関連	51.4	48.6	50.7	47.1	43.9
	企業動向関連	53.9	61.8	60.5	55.3	61.8
	雇用関連	43.8	43.8	43.8	50.0	62.5

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.7%	25.4%	50.8%	22.0%	0.0%
平成29年 9月	0.0%	26.7%	58.3%	13.3%	1.7%
平成29年12月	3.3%	28.3%	48.3%	18.3%	1.7%
平成30年 3月	1.8%	26.3%	45.6%	22.8%	3.5%
平成30年 6月	3.6%	17.9%	60.7%	16.1%	1.8%

② 県央地域

景気の現状判断DIは49.2となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.7	51.7	51.3	47.9	49.2
	家計動向関連	50.7	50.7	46.8	44.9	48.0
	企業動向関連	50.0	48.4	56.3	46.9	46.9
	雇用関連	65.0	70.0	70.0	81.3	65.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.7%	27.1%	47.5%	23.7%	0.0%
平成29年 9月	5.1%	20.3%	50.8%	23.7%	0.0%
平成29年12月	1.7%	28.3%	43.3%	26.7%	0.0%
平成30年 3月	3.4%	18.6%	49.2%	23.7%	5.1%
平成30年 6月	5.1%	16.9%	50.8%	23.7%	3.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは51.3となった。前回調査より4.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.3	47.9	58.3	55.5	51.3
	家計動向関連	52.2	45.8	56.3	51.5	49.2
	企業動向関連	47.2	48.6	60.5	62.5	54.2
	雇用関連	60.0	60.0	65.0	60.0	55.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.8%	24.6%	52.6%	19.3%	1.8%
平成29年 9月	1.7%	18.6%	52.5%	23.7%	3.4%
平成29年12月	8.3%	28.3%	53.3%	8.3%	1.7%
平成30年 3月	3.6%	32.7%	45.5%	18.2%	0.0%
平成30年 6月	3.6%	17.9%	60.7%	16.1%	1.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは47.9となった。前回調査より3.0ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.8	48.6	50.0	50.9	47.9
	家計動向関連	50.7	45.6	47.2	48.6	46.5
	企業動向関連	48.7	50.0	55.3	52.9	50.0
	雇用関連	60.0	68.8	50.0	60.0	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	3.3%	18.3%	58.3%	18.3%	1.7%
平成29年 9月	0.0%	18.2%	60.0%	20.0%	1.8%
平成29年12月	1.7%	20.0%	58.3%	16.7%	3.3%
平成30年 3月	1.8%	21.1%	59.6%	14.0%	3.5%
平成30年 6月	0.0%	20.0%	56.7%	18.3%	5.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは46.9となった。前回調査より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を17期連続で下回った。

表2-9 景気の現状判断DI

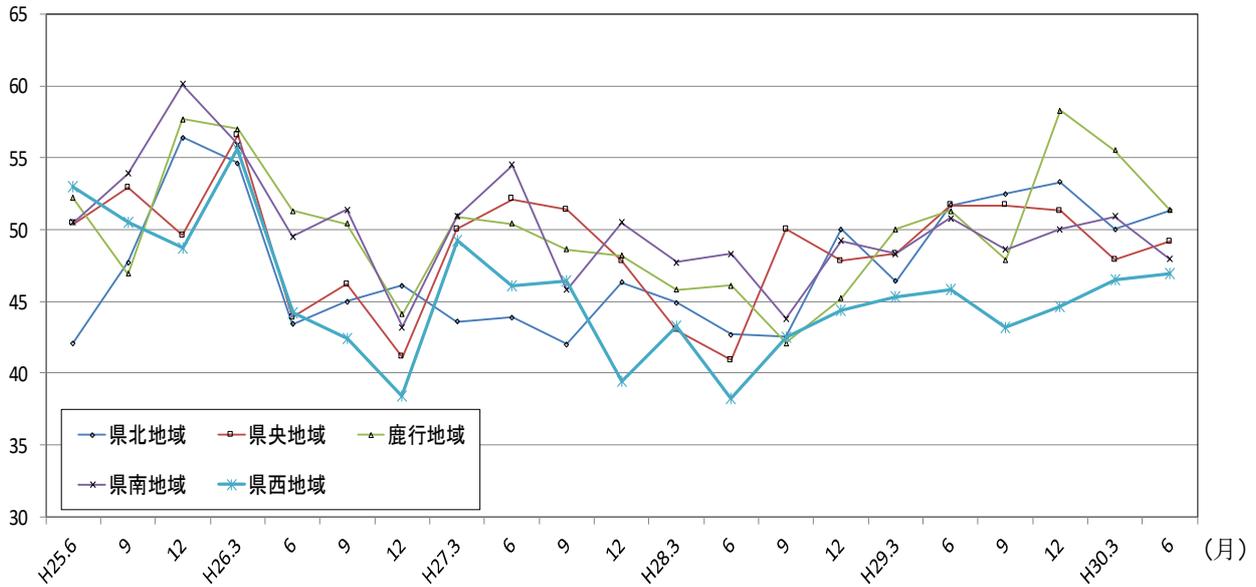
分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		45.8	43.2	44.6	46.5	46.9
家計動向関連		42.9	37.1	38.2	44.7	45.6
企業動向関連		43.4	50.0	48.7	46.1	46.1
雇用関連		75.0	60.0	75.0	60.0	62.5

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	3.4%	22.0%	42.4%	18.6%	13.6%
平成29年 9月	1.7%	16.9%	47.5%	20.3%	13.6%
平成29年12月	0.0%	21.7%	46.7%	20.0%	11.7%
平成30年 3月	1.8%	21.1%	59.6%	14.0%	3.5%
平成30年 6月	1.8%	17.5%	54.4%	19.3%	7.0%

(DI)

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.03	H30.6月
県全体	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3
県北	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3
県央	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2
鹿行	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3
県南	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9
県西	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9
全国	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	1.251	50.6 47.4	49.9 50.0	49.6 51.1	53.9 53.9	51.7 48.9	未公表(原数値) 未公表(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より1.8ポイント低下し、横ばいを表す50となった。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.1	54.6	51.3	51.8	50.0
家計動向関連		51.4	53.4	51.4	49.3	47.0
企業動向関連		55.3	59.2	52.6	56.6	56.6
雇用関連		43.8	43.8	43.8	50.0	43.8

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	0.0%	25.4%	59.3%	13.6%	1.7%
平成29年 9月	3.3%	23.3%	61.7%	11.7%	0.0%
平成29年12月	3.3%	18.3%	58.3%	20.0%	0.0%
平成30年 3月	0.0%	24.6%	61.4%	10.5%	3.5%
平成30年 6月	0.0%	21.4%	58.9%	17.9%	1.8%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.8となった。前回調査より3.0ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		55.1	53.4	50.0	53.8	50.8
家計動向関連		53.3	52.6	48.7	52.6	49.3
企業動向関連		57.8	50.0	48.4	51.6	50.0
雇用関連		60.0	70.0	65.0	75.0	65.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	5.1%	25.4%	54.2%	15.3%	0.0%
平成29年 9月	3.4%	22.0%	59.3%	15.3%	0.0%
平成29年12月	1.7%	18.3%	60.0%	18.3%	1.7%
平成30年 3月	3.4%	30.5%	47.5%	15.3%	3.4%
平成30年 6月	3.4%	23.7%	49.2%	20.3%	3.4%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より5.5ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合 計		50.0	51.7	55.0	56.8	51.3
	家計動向関連	47.8	51.4	51.4	55.9	50.8
	企業動向関連	55.6	55.6	59.2	59.4	52.8
	雇用関連	45.0	40.0	65.0	55.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	0.0%	17.5%	66.7%	14.0%	1.8%
平成29年 9月	0.0%	22.0%	64.4%	11.9%	1.7%
平成29年12月	5.0%	23.3%	60.0%	10.0%	1.7%
平成30年 3月	5.5%	25.5%	60.0%	9.1%	0.0%
平成30年 6月	1.8%	21.4%	58.9%	16.1%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より2.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合 計		54.2	48.2	51.7	53.5	51.3
	家計動向関連	51.4	47.1	50.0	55.0	50.0
	企業動向関連	57.9	47.1	53.9	51.5	52.6
	雇用関連	60.0	62.5	55.0	50.0	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.7%	28.3%	58.3%	8.3%	3.3%
平成29年 9月	0.0%	20.0%	58.2%	16.4%	5.5%
平成29年12月	1.7%	16.7%	70.0%	10.0%	1.7%
平成30年 3月	1.8%	24.6%	61.4%	10.5%	1.8%
平成30年 6月	0.0%	18.3%	70.0%	10.0%	1.7%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは52.6となった。前回調査より6.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を9期ぶりに上回った。

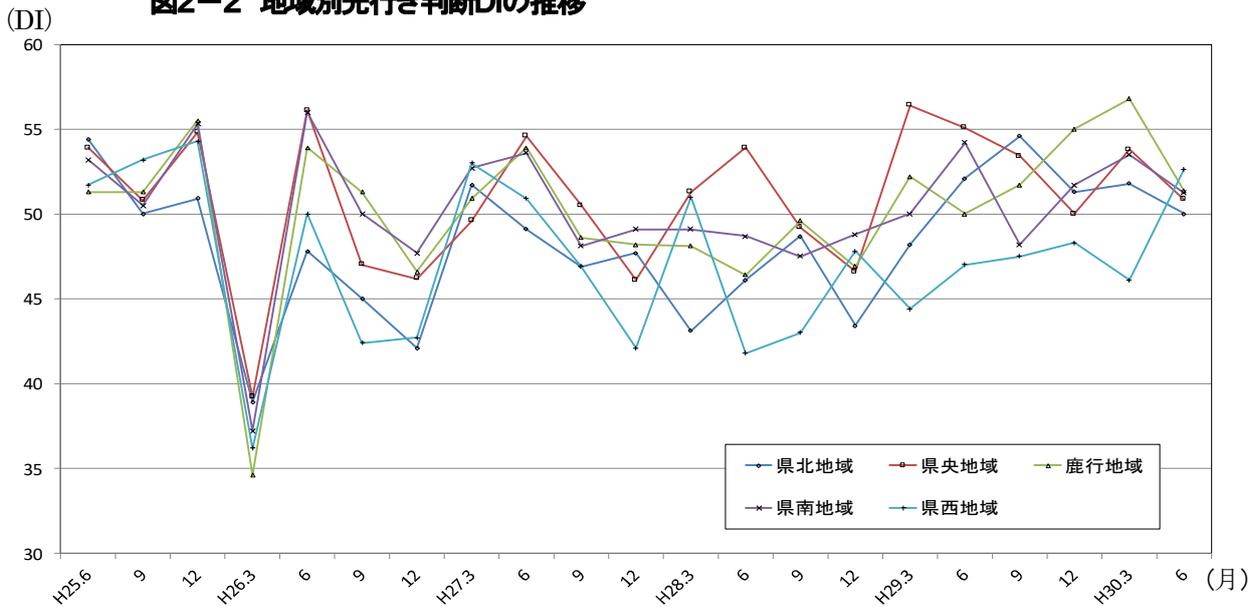
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成29年	平成29年	平成29年	平成30年	平成30年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		47.0	47.5	48.3	46.1	52.6
家計動向関連		45.0	42.1	46.5	45.5	50.7
企業動向関連		50.0	53.9	48.7	43.4	53.9
雇用関連		50.0	60.0	60.0	60.0	62.5

表2-20 回答構成比

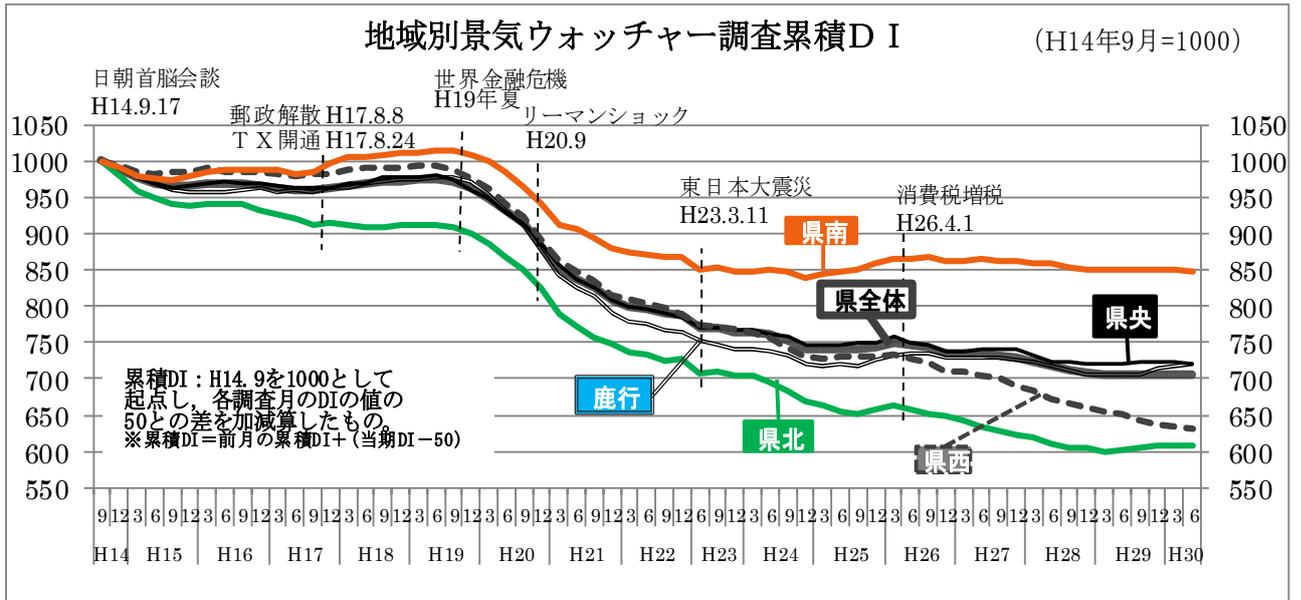
	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成29年 6月	1.7%	18.6%	55.9%	13.6%	10.2%
平成29年 9月	3.4%	16.9%	54.2%	16.9%	8.5%
平成29年12月	2.8%	11.1%	63.9%	13.9%	8.3%
平成30年 3月	0.0%	22.8%	50.9%	14.0%	12.3%
平成30年 6月	0.0%	29.8%	54.4%	12.3%	3.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.03	H30.6月
県全体	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2
県北	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0
県中央	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8
鹿行	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3
県南	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3
県西	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6
全国	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	未公表(原数値) 未公表(季節調整値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ゴルフ場	①4～6月の来場者実績ベースで前年比、3か月前比で115%伸びている。 ②近隣県外の来場が微増である。 ③天候不順による影響が横ばいである。
	企業	情報通信業 (情報サービス業)	仕事も増えて忙しくなっている。
やや良くなっている	家計	ラーメン店	3月初めは良かったのですが、それ以降5月第4週まで極端に売上げが悪く、5月末から極端に売上げが上がりました。都内の方でも小バブルとの声も上がっており、ボーナスも過去最高額を貰ったと聞いております。(友達)年齢は40代です。事業形態はアパレル・化粧品・海外も含め県内銀行も出し渋りしないで、融資に力をいれている模様。
	企業	水産業関係者	以前から明暗分かれる状況であったのだが、その「暗」の分野で復調の様子を感じた。
		製造業 (電気機械器具)	前年と比べ、売上げの増加が見られます。
		製造業 (電気機械器具)	新卒の採用が思うようにいきません。特に学卒は、ほとんど手ごたえがありません。メガバンクが採用数を大幅に減らしているので当社にもチャンスがあると期待したのですが、裏切られました。多くの学生が好業績の大手企業に行ってしまうと思われる。
		製造業 (化学工業)	取引先での投資案件が増えてきたと感じる。
		製造業 (電気機械器具)	輸出 (中国向け) 生産量がアップする。
		運輸業	貨物の輸送依頼が増えている。
	運輸附帯サービス業	弊社関連で受注が増え、時間外が増えてきている。	
	雇用	学校就業関係者	企業の人事担当者の話の中身から判断。
求人開拓員		正規雇用の増加が非正規雇用を上回っている。正規雇用を希望する若年層の求職者においては、比較的短い期間の就職活動で採用が決まる傾向が強いことから景気回復が見込まれると考える。	

変 わ ら な い	家計	商店街代表者	3か月前と今月の前年比を比べてもほとんど差がない。
		スーパー	お客様の購入金額を見るとほぼ同様の推移をしているため、購入商品の内容も低価格品を中心として、近隣スーパーを買いまわっている様子もある。
		酒・各種商品小売業	景気が良いときは外食する方が増えるが、当店で納めている飲食店への納品は量が変わらないので、変わらないと判断。
		衣料品販売店	お客様の来店数が依然として低い。
		小売業（酒類）	来店客数減少傾向。アルコール飲料だけでは、今のところ期待できない。
		スナック	日立製作所の社員の入達が、帰宅するのが早いと思うから、変わらないと判断した。
		ラーメン店	売上げが平均している。
		食堂	客単価が前年より悪くなっています。
		観光型ホテル	予約状況などから判断。
		旅行代理店	3か月前と比べ、ツアー客が昨年を下回る状況に変化がないため。
		タクシー運転手	大手企業の働き方改革等により、残業時間等が少なくなっています。生活給の減少により経済への悪影響が懸念されます。
		タクシー運転手	人通りが変わらない。
		ドライブイン	野菜直売コーナー、地元出荷者の商品が数多く出荷される時期になったため、点数は多いが客単価は低くなった。売上げとしては変化なし。（昨年との今時の時季と比較すると、客数、売上高共に下回った）
		ゴルフ場	本来であれば多少悪いと判断したいところではあるが、全体的に人手不足な売り手市場感があるため変わらないと評価した。
		ゴルフ場	特に変化している部分が見受けられない。
	ボウリング場	春休み大型連休期間は、来場者数も多く、売上げも伸びたものの、平日については、春先と比較しても大きな変化が見られない。常連客を対象とした試合への参加者数も伸び悩んでいる。	
	写真店	良い物を残しておきたいと熱望する方は、写真のカット数も金額等にも納得すれば上限を決めないが、一般的に、自分のカメラ、もしくは携帯で撮影し携帯内に保存してプリントにするのも、画質にこだわる方が少なくなっているように感じる。	
	美容室	売上げが伸びない。	
	住宅販売会社	来場、受注ともに大幅な変動が無い。	
	企業	林業関係者	大きな動向は無く変わらない。
製造業（食料品）		出荷数量等特に増減なし。	
製造業（電気機械器具）		受注案件が継続しており、変化がない状況。	
製造業（食料品）		売上げは昨年比と変わらずほぼ同額である。今後も大きな変化はないと思われる。	
製造業（一般機械器具）		業務において、通年と変わらない繁忙さのため、変わらないと判断。	
製造業（輸送用機械器具）		国内カーメーカー各社の18年3月決算は北米優遇税制や為替影響、加えて中国での販売増等により軒並み収益の上方修正結果となっている。しかし、実際の作業量とはリンクしてないため国内景気を大きく好転させるインパクトには至っていない。	
製造業（精密機器）		横ばいですが新規の見積り依頼は増えていますので、秋頃から少し伸びていくと思います。	
建設業		官民ともに工事量は少なめに推移している。お客様の話からも、さほど変化は感じられない。	
金融業		ある大手企業の今後の動向が判然とせず、地元下請け業者の間でも不安感は払拭されていない。お客様の売上げについても3か月前と比較して変化がないことから、変わらないと判断した。	
不動産業		ひとつの商品に飛びつこうとせず、十分に検討期間を持ち選択している様子がある。	
雇用	求人広告	企業規模が大きいほど予算があるが、小さいと厳しい状況は変わらない。	
	公共職業安定所	新規求人数を見てみると、多少の増減はあるがあまり変わらない。事業所から仕事量が増えているわけではないが、欠員補充のため求人を申し込んだとの話を聞くことが多い。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	年度末における受注物件が終了し、新たな物件に対するアプローチの時期に当たり売上げが減少している。
		スーパー	来客数、売上げが落ちている。特に惣菜の売上げが悪い。
		コンビニエンスストア	店舗の売上げ状況の厳しさから景気が良くなっているようには思えません。また、当地区の主要企業の業績や人員削減の状況からも景気の悪化を感じます。
		自動車販売店	原油の高騰が続き、先行き不安のためか、コスバの良い車種に。また、新車ではなく、手頃感のある中古車の動きが良いため。
		農産物直売所	来客数が減少している上、客単価も落ちている。
		小売業（時計）	高級品の動きがない。
		観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊は宿泊者数・売上げ共にほぼ横ばいであるが、日帰り客については、人数は横ばいで売上げが約1割減少しており客単価が落ちてきている。そのため、景気はやや悪くなっているかと判断する。
		タクシー運転手	2016年に入社してからの営業売上げが、2年間ですが、かなり厳しくなっているのがわかる。（会社関係の利用も減っている）
		レジャー施設	本諸施設の利用者数及び収入状況を見ると、過去5年間では上から4番目であり、昨年及び一昨年など直近と比較しても減少傾向にある。
悪	家計	タクシー運転手	自分たちの地区の飲食店も店を閉めている。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ペット美容室	季節要因の部分が多いですが、同業者が年々増えていく中、スタッフの人数もそのまま現状維持が出来ているということは、良い方なのかもしれません。
		企業	<p>製造業(一般機械器具)</p> <p>製造業(精密機械器具)</p>
	やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア
楽器販売			高額商品の動きが幾分活発化した。
割烹料理店			小学校、中学校統合などで、工事のお客が増えているので工事終了までは、良くなることを願いたい。
旅行代理店			3か月前に比べて旅行の申込み件数が増えている。
ゴルフ場			来場者が増加傾向にあり、プレー単価も増加している。また、昨年食堂メニューの値上げをした効果が出始めており、食堂売上げも増加傾向を示している。
企業		製造業(金属製品)	計画段階だった案件が次々に動きだし、現在はフル稼働状態である。現在は選別受注でできる状態で、工期のない案件は断らざるを得ない状況になっている。
		工務店	民間工場などのお客様からの仕事の依頼や見積りの依頼が増えている。
雇用		人材派遣業	各社とも忙しく、求人もかなり増えている。
		求人広告	求人数が増えている。
		公共職業安定所	当所管内では、有効求職者数は平成24年4月から73か月連続で前年同月を下回り、有効求人数は平成29年2月から15か月連続で前年同月を上回っていることから、有効求人倍率は1.64倍と62か月連続で前年同月を上回っている。企業の採用意欲は旺盛で、求人数は堅調に推移しているが、求職者数の減少が止まらず、人材確保がより困難になっており、ターゲットとする求職者層を広げたり求人票の条件(雇用形態・賃金・就業時間等)を見直す企業が増えている。
変わらない	家計	商店街代表者	あまり変化は見られない。
		商店街代表者	販売高、仕事量は少し減少しているが大変忙しい。来店するお客様が偏って、同時に2、3人来るが、その後全然来なかったり、受注すると、待っているうちに欲しい、通常2、3日くらいのサイクルで仕上げていくのが何時間で出来るか、などの問い合わせがくる。お客様に時間の余裕がないように思う。
		百貨店	今月の売上高の前年比と、3か月前の前年比を比べるとほぼ同等である。
		百貨店	流れはあまり変わっていない。必要なものをよく考えて購入されている。
		スーパー	お店の供給高は横ばいになっている。
		スーパー	高めの品物はなかなか売れず、必要な物だけを買っている感じがする。
		コンビニエンスストア	3か月前同様話題商品以外は、値引き商品の売上げ構成比が高まっていることから、消費への節約志向は依然として変わっていない。
		小売業	ここ3か月の数字は前年比で横ばい。
		自動車販売店	前年比・6、3か月前比でほぼ横ばい状況かと感じます。
		農産物直売所	ギフト商品(特にメロン)の売上げ点数、売れ筋の価格帯が今までと変わらない。
		レストラン	歓送迎会・株主総会等の予約でも客単価はさほど変わらない。また、個人利用でも大きな変化はない。
		都市型ホテル	特に変化が見られない。
		旅行会社	お客様の申込みが変わらない。
		バス運転手	運賃箱の収入、客層もあまり変わらない気がする。
		タクシー運転手	このところの原油価格の高騰の影響もあり前年対比の売上げはUPしているが、プラスマイナスゼロという感じで3か月前と変わらないと判断する。
タクシー会社	輸送回数、売上げ共に横ばい状態にあるため。		
タクシー会社	ご利用されている顧客の増減に変化なく、売上げについても変動がありません。		

変わらない	家計	観光名所	現在の景気は業界自体が低迷し、かなり厳しい状況が続いている。3か月前とほとんど変わらず業績は伸びていない。高価な商品ほど利幅が良いが、その高価な商品の売れ行きがあまり良くないので利益が取れていない。
		レジャー施設	3か月前は、お土産販売店舗で前年比売上げが約5%マイナスとなっていたが、直近ではややプラスになってきている。ただ、利用人数の伸びはあまり感じられず、景気そのものはあまり変わっていないと思われる。
		スーパー銭湯	今年はあらゆる花の開花が高陽気により早まってしまっており、今や全国的に人気となっている海浜公園のネモフィラも同様にGW以前に見頃となってしまい、昨年と同様にGWの集客を見込んでいましたが、大きく下回る状況になるとともに、その後も好天気は続いており、特に週末の天気が良いことは屋内レジャー施設にとっては痛手となっている。
		建築設計事務所	通常総会に参加し、意見交換を交わす機会がありました。上向き傾向の話は聞こえてきませんでした。
		住宅販売会社	お客様の来場や契約等特別増加した感はない。
	企業	農業関係者	露地野菜等出荷している農家は収入が増えているが、梅が豊作で販売単価が極端に安くなっている。
		製造業(食料品)	少なくとも食品業界は良くなっているとは思えない。
		製造業(印刷・同関連業)	大きな変動はありませんでした。
		建設業	目に付く社会現象、身のまわりとも特段の変化なし。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の輸送量に大きな増減はない。
雇用	金融業	県内景気は緩やかに回復している等の報道がありますが、当組合取引先の中小企業のお客様においては、3か月前の売上げや利益率などと比べても特段の変化がない。	
	学校就業関係者	5月時点での内定率は4割を超えているとの報道のとおり、学生の就職状況については好調のようである。しかし、県内の企業等の採用状況はまだ獲得予定数に至っておらず、都市部と地方とのギャップなどが現実の問題として現れている。このような状況は以前から懸念されていたものであり、大きく変化があったとは思えない。	
	求人開拓員	いばらき就職支援センターにおいて、事業所からの求人状況(求人情数トータル及び業種ごとの求人件数)及び求職者の利用者数共に大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	売上げの低迷と客単価の減少。
		スーパー	お客数の伸びがなく、単価、客単価にも伸びがない。価格の反動がシビアになっている。3か月前と比べると今月のほうが低調となっている。
		スーパー	食料品を中心とした最寄り品の売上げは昨年並みであるが、買回り品を中心に売上げ回復の兆しが見えてこないのが館全体でも厳しい。
		レストラン	宴会での料理や飲み物の単価が下がってきている。
		都市型ホテル	総会シーズンであるが、全体として予約件数と規模も縮小しており、対前年2~3割減となっている。3か月前の予測と比べても同等の減となっている。
		観光型ホテル	個人のお客様の集客が昨年と比べて少なくなっている。
		ドライブイン	インバウンドのお客様が中心です(現状)。やや少なくなってきています。
		ゲームセンター	売上げの伸びが下がっている。
		レジャー施設	燃料費(仕入れ単価)が3か月前から継続して上昇しており、現在も上がり続けている状況である。このことから出港を控えている利用者も多く、景気はやや悪くなっていると思われます。(施設内に給油所も併設・運営していることから上記理由を思慮)
	理・美容店	3月の売上げは卒業シーズンもあって、着付けなど売上げも良かったので、それに比べると5月は売上げがかなり落ち込んだ。	
企業	製造業(印刷・同関連業)	毎月の実績において売上げ減となっている。	
	製造業(窯業・土石製品)	受注していた大型物件が終了した。	
	サービス業(広告業)	個人レベルでの高額商品(家・車・結婚式等)の販売受注状況が芳しくない。そのため、販促広告の投稿が伸びてこない。	
	サービス業(コンサルティング業)	住宅の在庫物件が多い。	
悪	企業	製造業(食料品)	購買点数・価格共に低いレベル。
		不動産業	・3か月前は繁忙期であるため、今月は需要は落としていると思われます。 ・実際に、来客数や問い合わせ反響数は落ちている。 ・お客様の契約単価が落ちている。安価で契約を望んでいるお客様が多い。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	農産物直売所	昨年売上比より伸びている。
		小売業	当地域では、コンビナートの定期修理があり、(期間限定：5月初め頃から6月下旬頃)特に今年は大規模に行われている。全国より労働者が多く集まっているので、宿泊業、飲食業等、景気が良くなっている、その恩恵で当社も良くなっている。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	担当しているお店の客単価や買上点数が全店上がっている。お店の取り組みだけでなく景気などの外的要因もあると考える。
		コンビニエンスストア	客単価が少し増えた。
		和食レストラン	来店客数の増加が見られる。ただし客単価は横ばい。
		運転代行	平日でも週末と同じ位予約が入っています。
		都市型ホテル	工業地帯または近辺での新設工事やメンテナンス等に伴い、季節要因以外でも、ビジネスのお客様が増えたように感じます。
	企業	農業関係者	最近の農産物の販売単価は、年度当初の単価高から、順調に農産物の量が増えたため、一時の販売単価高の勢いはなくなっている状況である。
		製造業(化学工業)	当社業績好調。
		製造業(金属製品)	政府指導系経済対策は、少しずつ効果を表しているようだ。 ・半導体やロボット用パーツの関連企業は好況である。 ・自動車関連は、自動走行などAIに関する部品が増えている。好況と言われている。
	雇用	学校就業関係者	学生への求人は、同時期に比べ増えている傾向。特に、中小企業の方から飛び込みのような電話、来客があり、自社で教育するので経験は不問というところもある。
		求人開拓員	最近よく見かける回転寿司店でのラーメンやハンバーグ等の販売や、ファミレス等でのお酒の販売などのメニューの充実は、少しずつではあるが、消費者の堅い懐を和らげる一因になっているようすである。
変わらない	家計	商店街代表者	身近な事業者の意見から、客数・客単価は横ばいである。
		家電販売店	前年同時期と比較し、若干集客減であるが季節要因を除いて考えれば、さほど問題はない。また、高付加価値商品が好調で、単価が向上していることから景気悪化とも判断できない。
		小売業(菓子類)	3か月前の売上げの対前年比と今月のそれがほぼ同じであるので、景気は変わらないと思う。
		小売業(食品)	直売所・アンテナショップなどの売上げ3か月前とやや同じくらいでも、昨年よりはやや上昇です。
		観光型ホテル	予約の状況などを見ても3か月前と変わらないと思う。
		タクシー運転手	現状では変わらない。我々の仕事はサービス業であるが、どのようにサービスするか、どのようにタクシーを利用してもらうか、業界全体で考えていく必要がある。
		ドライブイン	今年は冬の寒さが厳しく、一気に春に暖かくなったため農産物など収穫量や価格の変化が大きかった。
		ゴルフ場	昨年同月を比較した。
		レジャー施設	客数は減少傾向であるが、一人当たりの利用金額が増えているように感じられる。
		レジャー施設	来客数、商談の数があまり変わっていない。
		理・美容店	お客様の数が減っております。毎年なのですが、若い人が減っていて、さらに、昔からの長いお付き合いの方が毎月のように亡くなっております。
		理・美容店	ご来店されているお客様それぞれの来店周期が目立って変わってきた感じは全体的に見てもあまり感じないので、良くも悪くもなっていないように思います。
		住宅販売会社	お客様の状況行動から見て変わらないと思った。
		住宅販売会社	特段の変化がない。

変わらない	企業	製造業（鉄鋼業）	今月は3か月前と比べると平行状態ではあるが、前年と比べると受注率も上がり、売上げは伸びている。また6月～8月頃にかけては、農機具部品の受注が上がるので景気は良くなっていると判断します。
		製造業（食料品）	売上げも横ばいであるし、客数も増えてはいない。
		製造業（食料品）	TV放送等の影響もあってサバ缶詰の販売好調は持続しているが、秋口の漁獲シーズンに向かって冷凍品輸出（アフリカ方面）の引き合いが活発化している中では、魚価高が予想されることから、国内向けの缶詰製品価格UPが吸収できるかどうか不安が残る。
		製造業（電気機械器具）	景気が上向いているのは感じる。
		製造業（鉄鋼業）	特に変化を感じる事案は見当たらない。
		建設業	新年度も2か月を過ぎ、景気上昇の期待は大きいですが、なかなか景気上昇という感じがしません。相変わらずの人手不足が解消される要素があまり見受けられません。
		建設業	新築着工棟数が少ない。地元工務店とハウスメーカーとの競争あり。地元工務店は仕事を受注できません。
		運輸業（道路貨物運送業）	景気が良くなった実感がない。
		金融業	設備投資等の事業拡大に向けた借入れに対し、慎重な姿勢は変わっておらず、3か月前と比較しても依然として景気の回復には至ってないと思料されます。
		保険業	米農家の方も田植えが終わり、少しゆっくりしているようです。米価格も変化がないようです。
		不動産業	企業の年一度の定期検査により車の交通量は多いですが、居酒屋等は週末を除いて暇なようです。多くの作業員が来ているはずなのに仕事関係の方は飲み歩かないようです。
		内装工事業	今後景気が良くなることをあまり期待していないが、仕事が少ない中、稀に”超”忙しい人もいようだ。
		サービス業	製造業、加工業において、特段の需要増加に繋がる動きはなく、概ね従来と変わらない動向と考える。
		火力発電所	販売量が前月並み。
雇用	人材派遣業	1. クライアントから「今は忙しい」または「今は暇」というコメントが出ていない。 2. 各会社で働く人も、最近残業が多いとか定時の日が多いという話もあまり聞かない。	
	民間職業紹介業	相変わらず労働者人口の減少に伴い、求職者が依然として少ない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	全社的な傾向としては、青果物の相場が安定してきたため、高騰時より売上げが減少している。水産物の高値と、寄生虫アニサキスの発生が非常に多く、魚離れの傾向があり売上げが減少している。鹿行地域に限定すると、今年の鹿島コンビナートの定期修理が大型のため、例年より売上げが好調である。
		衣料品販売店	今月は、昨年と比較して売上げが上らない。（80%～90%） 特に土日の売上げが上っていない。
		小売業（薬品店）	近隣の商店に廃業が続いていて、商店街に活気がなくなっている。
		小売業（書店）	人気のある作品が発売・レンタル開始になっても初動が悪く残ることが多い。
		洋食食堂	前年比（97%）がマイナスになっている。
		割烹料理店	予約の入りも静かで、予約の席の予算も少なからず下がっている。
		観光型ホテル	毎年同時に来る団体の人数が減っている。
		クリーニング店	高齢化が進んでいるので、労働者が減っている。田畑を耕作する人が減って荒れてきた。
企業	公共職業安定所	有効求人倍率として、1.5倍台を超え堅調であるが、30年1月（1.91）をピークに下がってきている。（30年4月は1.67倍）	
悪	家計	日本料理店	ランチの入客数は変わっていないことに対して、毎月の平均の接待が歓送迎会の数より今月は少ない。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	スーパー	客数前年比、売上げ前年比は100%以上で推移している。	
		小売業（生花店）	客単価が上がってきている。特に、東京方面からの注文で業務用注文に対して上昇傾向にある。	
		和食食堂	観光シーズンで人が多い。	
		都市型ホテル	宿泊・宴会実績状況から、件数・宿泊者数も増加していたので、景気がよくなっていたと思えた。レストランも価格帯を上げたが、多少人数減もあったものの、売上げは上がっていたので良くなっていた。	
		都市型ホテル	宿泊及び宴会料金が少しずつではあるが上昇してきている。	
		タクシー運転手	駅から片道2500円程かかる工場などへ行かれるお客様が増えた。	
		住宅販売会社	家づくりを検討しているお客様が多くなってきている。また、建てる時の仕様についても「折角だから」と良い物を選んでいただくケースも増えた。	
	企業	製造業（食料品）	当社は駅構内に店舗している関係上3月は6月に比べ客数が多い。しかし客単価は6月の方が高い。	
		製造業（家具・装備品）	利益には繋がらないが注文の数が増えてきたようです。しかし、やはり物作りですので、経験者が少なく、受注を断ることもあり残念です。お客様は安い物（品）ばかりでなく良い物も求めているようです。	
		製造業（その他）	ヨーロッパの排ガス規制に向け、増産している状況。	
		建設業	仕事の見積りや引き合いが多くなっている。（個人のお客様・取引先の両方とも） 同業者も忙しそうである。	
	雇用	学校就業関係者	業務の関係から、県内企業に訪問する機会があるが、訪問した企業数社とも、仕事がたくさんあり、大変忙しい状況である。そのため、学院生の求人数も例年より採用人数が多い。また、数年求人かきていない会社からも求人が来ており、景気はややよくなっているのではないかと考えられる。	
	変わらない	家計	スーパー	昨年の売上げ、客数と比較してもさほど変わらない。
			家電販売店	季節要因を除くと、特に変化を感じられない。
スーパー			売上げが横ばい。	
コンビニエンスストア			特に今までと変化がない。	
家電販売店			前年比売上げと同様の売上げ。	
小売業（米穀）			H30年産の田植えも終了して、29年産の投げ売りが始まったような感じがします。（昨秋に米価が高値だったことから、大量に在庫を持つ大手の処分が始まったのだろうか。）	
洋食食堂			年金生活のマダムに多く来店してもらっている。安定した生活を送っているのので、変わらない。	
旅行代理店			お客様からの引き合いや問合せが低水準の状態のままで活気が無い。	
タクシー運転手			お客様が「何も変わらないね」と言っていた。	
タクシー運転手			・日中の会社関係・サラリーマンの乗車が少ない。 ・中長距離の乗車人口が伸びない。 ・会社関係の飲み会等が減少している感じがする。	
サービスエリア			平成29年2月の茨城県内圏央道全通に伴い、常磐自動車道の交通量は減少傾向にあったが、平成30年6月に外環道が開通したことにより交通量は微増の傾向にあり、入館者も同様の傾向。各個人の購買意欲は相変わらず高い率を示しており、交通量の増加したエリアにおいては、それなりの売上げを示していることから、前回同様特段の景気の変化はないと判断した。	
ゴルフ場			来場するお客様の単価などの大きな変化はない。	
工場見学案内			季節要因として観光地の開花時期がずれたことによりツアー団体が減少した。その要因を除けば、ほぼ前年と同様の動きをしている。従って「変わらない」と判断している。	
ボウリング場			全体的な客層や一人当たりの平均ゲーム数に目立った変化がないため、景気は変わらないと感じました。	
レジャー施設			6月に大きなイベントがあり、売上げ及び来客は多かったものの、全体としては3か月前と差が無いため、変わらないと判断した。	
理・美容店			夏になり暑くなれば髪を切る期間も短くなりますが、これは季節的なものであり、それを除けば特別何の変化もないので変わりはないと思う。	
理・美容店			状況が変わらない。	
設計事務所	前年比同士を比較して、あまり変化がない様子。			

変 わ ら な い	企業	農業関係者	周囲の方々との会話でも、農産物の売上高も昨年と比べて変化がなく、大きな変化はないと感じる。
		農業関係者	6月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度3月期～と比較すると両者ともに増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（一般機械器具）	大きな変化がない。
		製造業（食料品）	客数や客単価が多少多いが、さほど変わらない。
		製造業（飲料）	変化はありませんでした。
		製造業（非鉄金属）	自動車業界は、アメリカの関税引き上げ案により今後の輸出にダメージの懸念があるが、現時点では影響は出ていない。
		製造業（一般機械器具）	特に変化なし。
		建設業	3か月前は年度末なので、今より工事受注高が多いのは当然だが、昨年6月の工事受注が極端に少なかった。それと比較しても今月の受注はそれなりにあるので、景気は変わっていないと思う。
		運輸業（倉庫業）	飲料関係の動きは、天候に左右されるが、ややよくなりつつある状況。食品関係は季節要因があまりなく、一年を通じて安定しています。農業資材関係は落ち着いています。全体を考えると変わらない状況です。
		金融業	各業種とも業況に特段の変化はない。新規事業所等の開業、進出も目立った動きはなく、不動産売買も多少の事例はあるものの、物件全体の動きは活性化していない。新築物件の建築もあまり多くないように思われる。企業の設備資金の需要も以前と変わりなく少ない状況で、景気自体は普段の仕事やお客様の様子から判断して、3か月前と変わっていないように見受けられる。
雇 用	不動産業	2～3月が業界繁忙期のため、その季節要因を除けば変化なし。	
	人材派遣業	特定の業種は良くなっていると感じるが全体的には変わっていないと感じる。	
	求人広告	特に変化を感じない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	公共職業安定所	・有効求人倍率では、微減であったこと。 ・有効求人数では、微増であったこと。 いずれも大きく変わらず横ばいであった。
		スーパー	お客様1人当たりの買い上げ点数が若干下がっている。点単価・客単価も減少傾向にある。
		農産物直売所	昨年からの異常気象で野菜の生育に現在も影響しているようです。そのため、野菜の出荷量も減少しています。その上、市況も安く生産者の収入は伸びない。スーパーの販売価格が安いので、お客様はスーパーに流れている。
		小売業	業績面で若干前年を割り込んでいます。冬場の野菜の高騰など、生活面での必要物資が様々な影響を与えているように思います。
		和食食堂	5月のGWにお客様が来店する人数の減少を今年は凄く感じました。また、物価などの値上げ等でも年々生活に影響を及ぼしている印象があります。サービス（飲食）業関連の業種は特に影響を受けています。
		日本料理店	昨年中は、稀勢の里横綱昇進で牛久市・龍ヶ崎市がTVなどでブームに沸いた。今年は多少減った。
		タクシー運転手	駅から乗車するお客様が今月は少なく、回数が増えない。
		タクシー会社	電話がめっきり少なくなった。
	ゴルフ場	この2か月伸びが少なかった。今月に入って若干伸びてきたが、台風・梅雨と難しいところと思われる。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	例年と比較すると公共事業の発注が少ないと感じる。
不動産業		3か月前は繁忙期だったため、成約件数は現在減っているが、例年と比較すると問合せ件数・成約件数は多い状況。	
家計	ホームセンター	直近月では客数が大幅に減っている。（昨年対比で）	
	寿司店	来店の客数がここのところ少なくなってしまい、どうしたんだろうと疑問に思うくらいだ。	
企業	建設業	新築着工数が少ない。	

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	ラーメン店	ラーメンブームというか、店が11:30頃から満席になる。	
		ゴルフ場	予約状況にて判断しました。	
	企業	農業関係者	生産者…3月：全国的に野菜の出荷が集中・相場下がる。6月：野菜の出荷が落ちつき、相場が上がる。 JA…3月：農業資材販売量が少ない。6月：農業資材販売量が多い。	
		製造業（窯業・土石製品）	多少、受注状況が改善されてきている。	
		製造業（化学工業）	季節要因もあり、エレクトロニクス顧客の受注回復。	
		製造業（窯業・土石製品）	自社工場製作の受注残増し（向こう3か月）	
		不動産業	賃貸のお客単価が上がっている。	
	雇用	求人広告	自動車関連の企業の影響で景気が良いという企業が増えた気がする。飲食店では客数が増えたり、夜までの集客状況が良く、営業時間を延長するなどして工夫を図っているようだ。	
		学校就業関係者	商品価格高騰が続く、一般家庭への影響は大きい、企業に関しては求人について上向き傾向のように感じる。例年開催される求人関連説明会の参加企業が1.5倍増。	
		求人開拓員	仕事を探している求職者の数が減っている。現在就労している方が増えていると感じる。3か月前と比べてもかなり減っている、職を得て本人の景気も良くなっていると思う。	
	変わらない	家計	商店街代表者	良くなる要因がなかった。
			コンビニエンスストア	3か月前の前年比とは変わらず、景気に変化は見られない。
コンビニエンスストア			客数は鈍化しておりますが、その理由は競合店が多く出店しているものによります。それによるマイナス要因があります。消費を意識する販促策が多くありますが、それでもお客様の景気指数が上がっていることが見受けられません。	
衣料品販売店			一般衣料に関しては、他地域への流出が多く、地元個人店への客数は年々減少している。	
家電販売店			入店数、客単価に大きな変動がない。	
自動車販売店			新車の販売台数に変化なし。	
農産物直売所			前年比で売上げは多少増加しているが、景気が良くなったの増加とは思えない。同一業者や取引先から景気が良くなったとの声は聞こえない。青果物の単価（価格）が安い割に購入数が増加しない。	
レストラン			お店の毎月の売上げ・お客様人数等にあまり変わりはない。	
日本料理店			特別来店客数が増えたり、客単価が上がったということが感じられない。	
和食レストラン			変わらない。	
都市型ホテル			昨年と比べてみても、人数、単価共にさほど変化は見られません。	
旅行会社			良くもなっていないが悪くもない。	
旅行代理店			燃料代は上昇したままでお客様も渋っている。年金受給者は、生活苦であると話している。首相が話している「景気が上向き」とは程遠いように思われます。	
タクシー運転手			変化はあまり見られない。	
タクシー会社			去年と比較して変わらない。	
タクシー運転手			デマンド交通の利用者が増加している。このままだとタクシーのお客様はなくなってしまうと思う。	
ドライブイン			お客様の来店数、客単価から判断してここ数か月横ばい状態が続いている。	
ドライブイン			ついで買いや、まとめ買いといった行動はほとんど無く、客単価は横ばいである。来店客数も横ばいである。	
理・美容店	大きな変化は見られていない。			
住宅販売会社	展示場来場も横ばい。前年同期と比較しても同等である。消費税増税や金利上昇傾向の話で理解いただくも、仕事の先行き不安や、まだ待てる感が強く、依然として重い動き。			

変わらない	企業	製造業（輸送用機械器具）	一日当たりの生産状況及び所定外労働時間の推移等から3か月前と比較して変化が見られない。
		製造業（金属製品）	新規の引き合い、新規の顧客からの引き合い件数は増えているがなかなか取引きとして実現しない。
		建設業	特に変動を感じない。
		金融業	取引先の状況から、3か月前と比較しても売上高には大きな変化もなく、受注に関しても変化がない。
		サービス業（コンサルタント業）	良くなったとまでは感じないが賑わいは出てきたような気がします。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	天候が不順で客足が伸びない。路面店にはこれからが厳しい季節だ。
		スーパー	お客様の来店回数が減り、売上げが減少している。
		ホームセンター	個人事業者を中心に若干の客数減が見られる。
		飲食業	お客様の来店数が減っています。安定していない。
		レジャー施設	来場者数の減少、集宴会等の数・規模の減少
		商店街代表者	3か月前は卒業シーズンで売上げが伸びた月であった。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	年度末の前回に比べて、5月の連休後のこの時期は毎年のことだが受注が減少する。営業努力はしているが、業種的に不況業種の中のひとつだけに、どう努力していったら良いか、社員共々苦慮しているところだ。
		製造業（印刷・同関連業）	受注量が少なくなっている上に、単価が下がっている。
		製造業（電気機械器具）	受注増により人員増の要請があるのは一部の部門のみとなっている。
		建設業	公共工事が一段落したこと、燃料や材料の高騰の影響もあり、今月のほうが低調なので景気はあまり良くない。
雇用	人材派遣業	人材派遣業であるが、企業より依頼が少ない。	
悪くなっている	家計	製茶販売	以前ほど売れない。皆様財布の紐が固くなって余計な出費はしなくなった。
		クリーニング店	物の値上がり、ガソリンの値上げなどが多くあり、良くないです。
悪くなっている	企業	製造業（窯業・土石製品）	前回での回答通り、やはり現時点では、かなり注文受注が少ないのが事実です。当社の得意先が仕事が無い、少ないので仕方がないですが。この状況のままでは、何の進歩発展もなく、むしろ後退してしまいます。何か打開策を見つけて具体的な形にします。
		製造業（金属製品）	3か月前に比べると、材料価格が上がったためか、今月については受注が全く無い。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	ラーメン店	3か月先を含め年間通して多少良くはなると思います。業態全体を見ると、3年先は大きく分けて、廃業・倒産する会社は増えると思います。
		観光型ホテル	今現在の問合せより、9月、10月の問合せが比較的多い。
		ドライブイン	昨年のような長雨がなければ良くなっていると思われる。
		ゴルフ場	オリンピック需要で都市部の建設会社関係の企業が忙しいという話を聞いている。
		ゴルフ場	①現在の予約数は、7～9月分については、前年比現時点で10ポイント良くなっている。 ②新しい顧客が微増している。
		ボウリング場	夏休みシーズンを過ぎて、家族連れの利用客をはじめとした一般の来場者は減少するものの、団体での利用が多くなる時期に入るため、景気は若干ではあるが、上向くものと思われる。
		住宅販売会社	消費税増税が視野に入ってくるため、やや良くなっていると判断する。
	企業	林業関係者	昨年度より多くの皆伐が実施され、流通・市場は賑うと考える。補助制度の流れの変化が影響していると感じる。
		水産業関係者	土地柄、福島県の影響が大きい。直近になり開発が著しく、それが波及すると思う。(茨城県としては、複雑な心境ではあるが)
		製造業(化学工業)	この3月期の決算をみても、増収増益の企業が多い。
		運輸業	今後も貨物の輸送依頼が増えていくと思う。
不動産業		消費税増税に関する情報が多くなり、住宅等の大きな買物は判断する時期がくると思われます。	
変わらない	家計	商店街代表者	変わる材料が思いつかない。
		スーパー	現状のお客様の購入状況を見ると、客単価は変わっておらず、近隣スーパーの買い回り傾向は今後も続くと思えることから、景気に関しても変わらないと思う。
		スーパー	悪い時も良いときも長く続かない。
		酒・各種商品小売業	今のところ良くなる要素が見つからない。
		衣料品販売店	売上げが増加する要素が見えない。
		農産物直売所	客単価は横ばい傾向なので、3か月先も変わらないと思う。
		小売業(酒類)	近隣大手企業のボーナスも以前より少ないとの話。中小企業も残業ができないので、給与は少なくなっている。
		小売業(時計)	客数が変わらない感じがする。
		スナック	景気があまり良くならないために、お金を使う人が減っている。
		食堂	小遣いとして3万で食事代・ガソリン代・タバコ代では大変だと話しているお客は、借入をしてボーナスで返済しているようです。
		旅行代理店	3か月後の受注状況が昨年同時期と比べ下回っている。現状と変わらない。
		タクシー運転手	乗客などの話を聞くと、残業が減った分給料がマイナスになっているとのこと。この先の生活を考えると使い控えせざるを得ないとの意見を多々耳にします。
		ゴルフ場	今のところ、大きく変化を及ぼすような要因を見出せていない。
		写真店	スタジオでは、良い商品をつくろうと日々努力しているが、写真というものがあまりにも身近になっている今、大切な1枚より、より多く光がどうこうということではなく手軽に写せて、その時その時をシャッターチャンスで撮り楽しんでいる方が増えている。

変わらない	企業	製造業（食料品）	ガソリン、運賃等が上昇している点はマイナスであるが、生産数量、出荷供給に関しては堅調で現状を維持できる水準。
		製造業（電気機械器具）	2018年度作業は非常に繁忙であり、継続される。
		製造業（電気機械器具）	前年と同等の売上げが見込まれています。
		製造業（電気機械器具）	新卒の採用難の状況は、今後も継続すると思います。
		製造業（食料品）	現在、今後も変化ないと思うし安定している。
		製造業（電気機械器具）	3か月後も現在と同様に推移すると予想。
		製造業（一般機械器具）	特段大きな要因は考えられない。ただし、今後の世界情勢及び国内情勢によっては悪くなる可能性あり。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月後大きな変化は見られないと想定される。
		製造業（精密機器）	まだ情報としてはネタがないので横ばいだと思います。
		建設業	お客様の投資意欲や工事発注見込みから、良くもなく悪くもなくという感じなので、景気は変わらないと思う。
		金融業	お客様の受注状況を見ると、今後売上高が増加する方々は少なく、現状で推移するとの見込みが多いため変わらない。
		情報通信業（情報サービス業）	引き続き仕事は出回っていくと思われるが、人手不足は解消できず、出来る分だけ対応するという良い状態ではあるが現状維持が続いていくだろう。
		運輸附属サービス業	日立製作所で海外案件を受注し損ねたとの報道があり、先行きが不透明になってきているようだ。
		雇用	求人広告
公共職業安定所	人手不足感はあるが、求人数などあまり変化がない。来所者も少ない。		
学校就業関係者	高卒等の新卒者の内定が一段落すると思われる。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	大型案件が控えているものの、昨年の同時期に比べると物件数が少ない。
		コンビニエンスストア	景気の悪化を感じる背景が良好になっていく見通しが立っていない。
		自動車販売店	先行き不安によるコスパ重視の今の状況が変わっていかなければ、同じように右下がりの数字になっていくと思われる。
		ラーメン店	会合等の飲食が減ってきている。
		観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊予約は好調であるが、日帰り利用の予約が例年の2～3割減となっている。特に団体客が減っており、3か月先の景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	会社関係の売上げが良くならなければ、利用する方は増えない。
		タクシー運転手	燃料代が高騰して車での外出が減る。
		レジャー施設	景気を底上げする身近なプラス要因はあまり見当たりませんが、マイナス要因（例えば、一時的かも知れませんがガソリン価格の高騰や一部食料品の値上げ等）が多くみられる。
		美容室	良くなる要素が見当たらない。
		雇用	求人開拓員
悪	家計	タクシー運転手	大企業でもなければ行く先が見えない状況である。

(2) 県央地域 【先行き】

(一：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	農業関係者	お盆やお彼岸の小菊の出荷が始まるほか、水稻の収穫出荷により景気は良くなると思います。
		製造業(精密機械器具)	現状の受注残高や、今後の引き合い情報を基に分析すると、今期は続くものと判断出来ます。
やや良くなっている	家計	スーパー	今年の夏は晴れの日が多く暑くなるとの予報がでており夏らしい日が続けば、消費も好転するので予報通りになることを期待している。
		小売業	客数が増える要因が一つある。(茨城空港のチャーター機の増便が決定しているため。)
		自動車販売店	HV車は、ガソリンの値動きと多少連動するので、HV車代替や自動ブレーキ車が増加するのではと感じられます。
		旅行代理店	夏(7月~9月)のご旅行の申込みが例年に比べて早くなっているのも景気の好影響と思われる。
		スーパー銭湯	この好陽気が夏場に厳しい暑さを運んできてくれることにより、屋内レジャー施設が賑わうとともに、海水浴場及び各イベント開催が県内外から集客がはかられて賑わうことになれば条件付きで景気が少し上向きになり、気持ち的に明るくなることによりやや良くなると思う。
		レジャー施設	今後は、産油国の協調減産の緩和観測から原油価格が値下がりすると思われ、現状と比べるとやや良くなると思います。
		建築設計事務所	引き合いが増え始めていますが、小規模な案件が多く、売上げを伸ばすためにはまだまだだと思ふ。
		住宅販売会社	消費税増税に伴う駆け込み。
	企業	製造業(金属製品)	現在は業界全体の供給力よりも需要の方が多い。今後は価格の上昇が期待出来る。
		製造業(一般機械器具)	わかりませんがしばらく良いと思われる。
		不動産業	利益率は増加しているので良くなると思う。近々より2、3か月後に検討している。
	雇用	人材派遣業	今後も受注量が増えていく予想。
		求人広告	さらに求人需要が見込まれる。
		公共職業安定所	景気の先行指標である新規求人数は前年同月比で増加傾向であることから、海外情勢の急変等がない限り、今後3か月も今の上向き状態が継続する可能性が高い。ただし、一部の企業で不採算部門からの撤退や組織再編等により雇用調整を実施する予定があり、業界によっても温度差が表れ始めている。また、これ以上人手不足が強まると景気拡大の足かせになりかねない。
変わらない	家計	商店街代表者	水戸市内の中心街から事業所と就業人口が減っている。各事業所ビルから撤退していき、今まで購入していただいたお客様(お得意様)がいなくなった。
		百貨店	予算上は成長予算を組んでいるが、買上数・客単価とも伸び悩んでおり、当月並の推移であると想定される。
		百貨店	消費増税前には駆け込みもあると考えられるが、それまでは大きな変化は無いと思われる。
		スーパー	景気が良くなるような話題がないので変わらないと思う。
		スーパー	3か月のトレンドで見ると、横ばいもしくはやや低調なため、大きな変化は少ないと思います。
		コンビニエンスストア	喫煙者の減少によるタバコの売上げ減の影響で客単価が下がっているが、タバコを除けば買上げ点数、商品単価に大きな変化はなく、昨年のような天候不順がなければ悪くなることはないと考えられる。
		コンビニエンスストア	特に大きな変化はありません。
		農産物直売所	夏の飲食の予約状況が通常年と変わらない。
		楽器販売	毎年の傾向ですが、夏以降は弊社取扱商品の流通状況が良くなく、これを覆すほどの良い話が特にきていない。
		レストラン	今の状況から見て、今後も変わるとは思えない。
		レストラン	特に上がる要素が見当たらない。
		割烹料理店	季節要因を除いてどのことなので何とも言えない。
		都市型ホテル	特に変化が見られない。

変 わ ら な い	家計	都市型ホテル	現在の予約状況では、伸び率はやはり厳しいと思われる。
		旅行会社	予約が昨年同様である。
		タクシー運転手	時期的には、やや客の動きも鈍くなるがそれは毎年のことである。客数は多少上昇しても客単価が下がるので今月とあまり変わらないと判断する。
		タクシー会社	特に増加・減少の要因が共に無いように思える。
		タクシー会社	茨城国体の影響で、県内外の関係機関のご利用を期待していますが、大きな変動はないものと判断しています。
		観光名所	景気の大きな起爆剤が無いため、3か月先の景気は今と変わらないと考える。オリンピックでの外国人観光客が増え、同時に売上げが上がることを期待したい。
		レジャー施設	現在もあまり景気が良くなっている感触は得られていないことに加え、良くなる要素も現段階では見当たらない。
		ペット美容室	この仕事においては、人の生活に必ずしも必要なことではないと思います。ピラミッドに例えると底辺になると思うので、安倍政権の動き次第かと思います。世の中の動向が回り出すと、しばらくして底辺にも波が来ます。今のところ波は来ていないようです。
企業	製造業(食料品)	原料・資材等の原価上昇が予定される。	
	製造業(印刷・同関連業)	お客様からの意見としてあまり良くなっていない。今後が心配との声もありました。	
	建設業	把握する範囲の社会現象に変化の兆しが認められない。	
	運輸業(道路貨物運送業)	新規貨物の引き合いはあるが、大きな変化はないと思われる。	
	金融業	お取引先の見込みなどでは、3か月先の売上げ等が現状と同様の推移となっている。	
	工務店	特に良くなる要素が見当たらない。	
雇用	学校就業関係者	4割を超える内定率との報道があるが、まだ就職活動を続けている(就活は終了しない)学生がそれなりの数で存在している。昨年10月くらいまでこのような傾向がみられた。	
	求人開拓員	米国の輸入品への関税の動向が注目され、株価への影響と共に景気後退要因となるものと考えられる。その影響は徐々に現実的に現れてくると思われるが、変化が感じられるのはもう少し後のことか、...	
やや悪 くな っ て い る	家計	商店街代表者	ガソリン価格の値上がりや物流費用の値上がりなどの影響がでてくるのではないかと思う。
		スーパー	大手スーパーのデフレ感が強いので悪くなると思う。
		スーパー	少しずつ物価が上がる傾向にあるが、給与は上がらない。
		観光型ホテル	先行予約状況が弱い。旅行消費意欲が下がってきているのではないか。
		バス運転手	燃料の高騰で、車を使って出掛けるのを控えると思います。
		ドライブイン	観光地にとって、これから一年で一番お客様の集客が少ない時です。
		ゴルフ場	毎年のことながら、これから梅雨時期に入り、天候の影響を受けやすくなっている。テレビ、パソコン等で簡単に天気の情報が取れるため、キャンセルする方が多く、悪天候によるキャンセルの増加が懸念される。
		ゲームセンター	良くなる原因がない。
		理・美容店	先月から売上げが落ち込んでいるので6月は期待したい。(梅雨に入ったので)
企業	製造業(印刷・同関連業)	価格の下落による。	
	製造業(窯業・土石製品)	新規の受注が少ない。	
	サービス業(コンサルタント業)	少子化に伴う住宅の販売物件の減少。	
悪	企業	製造業(食料品)	天候不順による売上げの低迷がそのまま続いている。
		サービス業(広告業)	ここ3年ほど、9月の販促はかなり停滞する時期となっている。年末に向けての準備期間になっているようで、商機が薄い。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	農産物直売所	財布の紐を今月に緩めた反響がきそうだ。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	鹿島神宮への参拝客は増加傾向である。観光客からの購買力を向上させたい。特に、潮来市のあやめ、そして銚田市のメロンの季節には、更に観光客増が見込まれる。
		コンビニエンスストア	鹿嶋コンビナート・住金などの定期修理が周りで起きて人の流れが活発になり、お金の流れも以前より増えてくると考える。
		和食レストラン	実体のある好景気とは言えないが、徐々にお客様の不透明感(景気に対する)・不安が薄まってきていると感じる。(来店客数増加)
		運転代行	暑くなり出掛ける人が多くなると思います。代行を利用される方が増えると思います。
		タクシー会社	米国の利上げにより円安傾向になり輸出に良い影響がある。
		ドライブイン	来年度は茨城国体。2020年は東京オリンピックと大きな経済効果が期待できる。
		理・美容店	お盆がありますので、多少は変化があると思っています。でも今の人達は、昔から比べるとお盆もお正月も何も変わらないような気もしています。
		住宅販売会社	消費税増税やオリンピックの影響が少しあると思う。
	企業	製造業(化学工業)	当社業績好調。
		製造業(電気機械器具)	引き合いも増えているので期待出来る。
製造業(金属製品)		仕事量が急に減る条件はないので、やや上昇気味か。	
雇用	人材派遣業	1. 2020年のオリンピックの影響が徐々に地方にも影響してくるのではと思う。 2. 僅かながらにも「茨城国体」の影響も少しはあるのではと思う。	
変わらない	家計	スーパー	客数・客単価は同じ傾向なので変わらないと予想される。
		コンビニエンスストア	お客様の話から変化の要因を感じられない。
		家電販売店	ここ数年は同じ動きをしており、直近で変化するとは考え難い。
		小売業(菓子類)	売上げや利益率がこのところ横ばいである(対前年比)ので、景気はこの先も変わらないと思う。
		小売業(食品)	今年に入り人の動きなどを見ると良いように感じるので、今の景気はこれ以上にも、悪くもならないと思う。
		小売業(書店)	変わる要因が思いあたらない。
		割烹料理店	客単価が上がらないことには、状況は変わらないと思う。
		日本料理店	良い話はあまり聞かない。入客数が増える感じではない。マスメディアでネガティブな報道が多い時は自然と買うことを控えたり、娯楽に使うお金は控えるという話をしていました。
		観光型ホテル	3か月後の予約状況を見ても特に変動はないと思う。
		タクシー運転手	現在の景気の変化しない状態で3か月先の景気が改善するはずがない。タクシー業界が変わらなければ良くはならない。若い人でも生活できるような業界にしなければだめだ。
		レジャー施設	お客様の購買意欲、利用回数等があまり変わらない。
		理・美容店	短い期間で変化を感じる職種ではないので変わらないと思います。
		住宅販売会社	変化の兆しがない。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	今後、農産物については、昨年度と同程度の販売単価で推移するのではないかと 思われます。
		製造業（食料品）	大きな予約や注文も入っていないし、3か月では変わらないと思う。
		製造業（食料品）	マスコミ等の報道による現在の完全雇用状態は、少子高齢化による人口減少社会の 一断面であり、政府もやっと重い腰をあげて外国人労働者受入れ策に踏み出すこと は、将来への明るい展望となるはずである。
		製造業（鉄鋼業）	特に変化が起こる様子は感じ取れないが、立地各社の事務所等の老朽更新は増えて きている。
		建設業	世間一般では、景気上昇と言われていますが、私の周りでは、そのような実感はあ りません。
		建設業	新築着工棟数が少ない。地元工務店とハウスメーカーとの競争あり。地元工務店は 仕事を受注できないです。
		運輸業（道路貨物運送業）	すぐには実感できないのではないかとと思う。
		金融業	取引先である中小企業においては、業況回復している企業はほとんど見受けられ ず、3か月後も売上げ増加等急激な業況好転は考えられず、しばらく変化無しと思 料されます。
		保険業	悪い話も聞かない。
		不動産業	今と変わりはないと思われる。
		内装工事業	景気の兆しが見当たらないし、来年の消費税増税が更に景気を悪化させると思う。
		サービス業	鉄鋼業において米国の関税引き上げに大きな進展が見られないことから、動向は依 然流動的であり、現状を維持しながら様子見をしている状況で、3か月前から大き な変化は見られない。また、東京オリンピックによる需要を見込んでいるが、国内 においては特定の業界に限られているようだ。
		火力発電所	好転の材料が見当たらない。
		雇用	民間職業紹介業
学校就業関係者	人手不足であるが賃金等（初任給）反映には時間がかかっている。また、雇用され ても充実した環境で勤務出来ているか疑問である。		
求人开拓員	飲食店どうしのメニューの充実等によるお客の奪い合い等は、一般消費者の購買意 欲の拡大につながれば多少はよくなるだろうが、それがすぐ景気の拡大につながる か疑問。		
やや悪くなっている	家計	衣料品販売店	自店では、今月と来月が夏の売上げピークのため、今が上がらないと3か月後も厳 しいと思う。
		小売業（薬品店）	人口減少が続いていて、良くなる様子は考えにくい状況。
		洋食食堂	前年の業績が良かったので、今年は例年並に戻るのかなと思う。
		都市型ホテル	同業他社の出店に伴い、今後やや悪くなるのではないかと思います。
		ゴルフ場	気温上昇に伴いゴルフ場利用者が減少。シニア層も来場回数が減少する。
		レジャー施設	客数が減少傾向であるため今後は厳しいと思う。
		クリーニング店	若い人は都会へ行き戻ってこない。老人だけの世帯が少しずつ増えている。介護施 設の利用者が増えている。
企業	製造業（鉄鋼業）	3か月先の9月頃は、アメリカの輸入制限があることから、鉄鋼・アルミニウム関 係は落ち込む傾向にあると考え、景気はやや悪くなると思います。	
雇用	公共職業安定所	6月いっぱい工場閉鎖の情報あり。	
悪	-	-	

(4) 県南地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	ー	ー	ー	
やや良くなっている	家計	家電販売店	現状があまり良くないため、今よりは良くなっていると思う。	
		小売業（生花店）	一般需要は、人口減少や少子化により下降傾向が続くと思われるが、業務用需要、特に工場の新設や設備増強による需要が増えてきており、消費税増税前までは良くなると思う。	
		タクシー運転手	会社近くに大きな倉庫がオープンするので、多少は仕事が増えるかも知れない。	
		タクシー運転手	工業団地へ行かれるお客さんがさらに増えると予想する。	
		設計事務所	契約金額（受注額）がやや増加傾向にある。	
		住宅販売会社	急激に良くなるということはないと思いますが、消費税増税前で駆け込み消費があれば景気は良くなるのではと思います。	
	企業	製造業（食料品）	3月より6月の客単価が高いことや季節の条件を考慮すると、9月まで右肩上がりに客単価が伸びると考える。	
		建設業	3か月後は官公庁からの工事受注も増えてくるので、景気が良くなってくるのは当然だが、このごろちょっと知っている会社からの工事依頼など頻繁に問合せがある。よって工事受注も増えて景気はやや良くなってくるように思う。	
		不動産業	例年より状況は良いのではないかと予想している。	
		建設業	受注案件がふえているので。	
	雇用	公共職業安定所	求人数は増加する傾向にあり、求職者は減少傾向であることから、雇用情勢は改善が進むと思われる。	
	変わらない	家計	スーパー	売上げ・客数ともさほど変わらないから。
			スーパー	現状では良くなる要素は見当たらない
スーパー			今の若干ダウントレンドが変わる予件が見当たらない。	
コンビニエンスストア			直近1年間で特に変化がない。	
家電販売店			ボーナスの金額により、お客様が購入する商品を変更したいという話を多く頂いている。	
農産物直売所			異常気象の影響はこれから先暫く続くように思えます。	
小売業			今年は社会的行事（冬季五輪、サッカーW杯）もあり、マスコミを中心に消費の後押しを期待していたが、大きな消費の動きを感じない。お祭り騒ぎという景気には感じません。	
ホームセンター			好転する要素が見当たらない。	
小売業（米穀）			猛暑予想の今夏、新米の動きが早そうです。ただ、高値か安値かの予想がつきにくい。	
和食食堂			経済の状況が良くならない限り、需要と供給が反面しないと先のことは見通しがつかない。	
日本料理店			鰻の仕入れ額が上がっていき、ますます大変になるが昨年と変わらずやって行けると思う。	
洋食食堂			会社関係、病院や薬メーカー等、定期的に予約が入る。	

変 わ ら な い	家計	旅行代理店	私どもの業界は、ある程度まとまった人数のお客様の手配等は、おおよそ3～6か月前から動き出すのですが、上向きの動向が見受けられない。		
		タクシー運転手	変わる要因がない。		
		タクシー運転手	人が集まる様な施設関係建設及び出店がない。		
		サービスエリア	常磐自動車道においては、交通量や入館者数の変動が今後も生じるものと想定されるが、お客様個人の消費傾向についてはそれほど変化はないと思われ、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはととらず変化なしと判断した。		
		ゴルフ場	予約の推移を見ていると、大きな変動のうねりを感じない。		
		ゴルフ場	予約状況を見る限り、土日などもかくとして平日はまだほとんど動きがない。夏を終えた9月中旬以降から動き出すと思われるが、猛暑が続くこともあり予想が難しい。		
		工場見学案内	特に市場の変化は見られない。ツアー団体客の予約状況は例年通り、またイベント集客も前年並みと判断している。		
		ボウリング場	業者やお客様との会話でも景気が良くなったという話題は耳にしない。当社も含め企業内での無駄な経費の削減に力を入れているという話が多くなった。それに伴ってか企業のボウリング大会の予約件数も減少傾向にあります。		
		レジャー施設	3か月後に売上変動につながる要因は見つからないため、変わらないと判断する。		
		理・美容店	変わる理由がない。		
変 わ ら な い	企業	農業関係者	野菜類の高騰は落ち着いていたが、米が高いためお客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。		
		製造業（一般機械器具）	大きな変化がない。		
		製造業（食料品）	特に、景気が変動する要素が当地区では無いようです。		
		製造業（飲料）	変化はありませんでした。		
		製造業（家具・装備品）	少し良い方向に向いているとは思いますが、先のことは不透明です。売上げが平均というようなことは無理です。やはり時代の流れで良い・悪い業界があるようです。		
		製造業（その他）	鋼材の値上がり等があるため、増産になったとしても価格は値上げにならないのでそれ程変わらないと思う。		
		製造業（窯業・土石製品）	道路会社の指名停止等もあり、公共事業向けの受注は厳しい。		
		製造業（非鉄金属）	アメリカの関税引き上げ案は実現しないものと予想。当面は大きな変化はないのではないかと思います。		
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。		
		運輸業（倉庫業）	引き続き同じ状況が続くと推測します。		
変 わ ら な い	企業	金融業	経済効果に結びつくようなプロジェクトもなく、大きな話題もあまりない状態で、今後3か月先においても大きな変化は感じられない。土浦駅に、日本最大級の体験型サイクリングリゾートとして、全長180kmのサイクリングコース「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のスタート地点にベースキャンプを開業。駅直結の好アクセスな立地で、館内は自転車の乗り入れや持ち込みが可能で、メンテナンスから宿泊機能まで、あらゆるサイクリングのニーズを充たす国内最大級のサイクリング特化施設として地域の活性化を図っている。		
		不動産業	良くも悪くも材料見当たらず。		
		人材派遣業	良くなっていると錯覚する程、人材不足の影響が大きいと感じる。		
		求人広告	特に変化を感じない。		
		学校就業関係者	現在の景気状況は好調であり、このまま維持すると考えられる。		
		変 わ ら な い	家計	和食食堂	頑張ってはいますが景気がよくない。
				寿司店	いつも来店するお客様は顔ぶれが同じで、そのお客様も65～80歳と来店回数も減ってきた。
				都市型ホテル	現在と比較すると良くなっていた分、普段ぐらいいもどる傾向にあるので悪く感じる。昨年比、宴会件数の減少があり、また、近くの店舗で閉鎖予定が数店舗あり、悪く感じた。
				理・美容店	ガソリンが少しずつ高くなっているの、3か月後もやはり悪くなっていくのではと思う。企業の上の方は良いでしょうが、下々の方はとても良いとは言えないでしょう。
		変 わ ら な い	企業	農業関係者	食品の価格が上がり、弁当などの内容量は減っている。
建設業	リフォーム等の見積りを提出しても、予算がないので仕事の内容も減らす傾向がある。				
悪	家計	スーパー	5km以内に大手の競合店が開店（7月中旬）		

(5) 県西地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	ー	ー	ー
やや良くなっている	家計	商店街代表者	秋物商戦に期待したい。
		自動車販売店	今週末に新型車の発表があるので期待感大。
		ホームセンター	大手企業を中心に過去最高のボーナス支給に期待出来ると思います。
		ラーメン店	2月末あたりに、下館ラーメンでテレビ番組に出たものですから、町全体のラーメン屋さんは皆景気が良いと思います。
		都市型ホテル	レストランは昨年と比べても変化は見られないものの、宴会・宿泊等は少しずつ予約が増えているように感じます。
		タクシー運転手	少しずつ上向きになっているような気がする。
		ドライブイン	夏のボーナスが消費にまわることを期待したい。ガソリン価格が低下することを期待したい。
		ゴルフ場	予約状況にて判断しました。
		ゴルフ場	米朝首脳会談等もあり、国際的な不安要素が緩和してくると思う。
		商店街代表者	運動会、修学旅行のシーズンで忙しくなると予想される。
	企業	製造業(化学工業)	顧客であるエレクトロニクス業界の需要増。
		製造業(窯業・土石製品)	現状の打開策としては、新しい人材を採用することです。当社が現状より良くなるためにも、新社員として入社してもらいたいです。現在入社希望者が2名いますので、採用していずれ売上の向上に必ずや寄与していただけると期待しています。したがって、今より少しは良くなると考えています。
		製造業(金属製品)	新規顧客からの注文が多少実を結びそうである。発注先は発注先を探している。業種によっては請負業者が全く足りていない様子である。
		製造業(金属製品)	7月から先の予定(発注)の話をいただいている。
雇用	求人広告	製造業関連や介護関連の限られた分野からの受注が確実に増えている。	
	求人開拓員	現在就労している方達が、好条件で仕事に就いていることが多いので、これからも希望条件の仕事をしやすい傾向になるのではないかと。	
変わらない	家計	商店街代表者	消費税10%の話題がそろそろ出始め、減税商品の説明会日程も来ているが、まだ先のような感があるので8%のうちに買おうという気運はまだない。
		スーパー	お客様の節約志向が高まっているように感じる。
		コンビニエンスストア	客単価などの前年比は変わらないので、今後3か月も変わらないと予測します。
		コンビニエンスストア	天候・気温で売上げは変化していきますが、環境の変化での売上げ変化は見込めないと感じます。オリンピック等の影響も近い先では見込めないでしょう。客単価は上がってきているが、反面客数の鈍化状況があるため横ばいの状態が続くと考えられます。
		衣料品販売店	一般衣料に関しては、他地域への流出が多く地元個人店への客数は年々減少している。
		家電販売店	特別な需要見込みも無い。
		農産物直売所	物日等の需要はある程度望めると思うが、景気が良くなったのことでないと思う。
		レストラン	お客様との会話の中で景気が良くなっているという話は聞かない。その他でも聞かないのだから現状維持だと思う。
		日本料理店	天候やワールドカップの盛り上がり次第。
		和食レストラン	変わらない。
		レジャー施設	物価上昇(ガソリン等)
		理・美容店	インター付近の開発も始まっていないので、まだ時間が必要だと思う。
		住宅販売会社	前回の消費税が上昇した際の景気を鑑み、同じように推測すると、今年度下期から上がってくると判断。急激な住宅ローンの金利上昇がない限り、景気が早期に良くなることはないと思います。

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	現状悪い状態で良くなる要素がない。
		製造業（窯業・土石製品）	3か月前と比較して、多少改善されているように思えるが、それ以上の良い要因が見込まれていない。
		製造業（印刷・同関連業）	来年元号が変わることの恩恵を受ける業種の一つだと思うが、昨年から続いている政治不信（安倍首相・昭恵夫人絡み）も早く終結し、新しい元号は何だろう、とお祝いムードに持って行ってもらいたい。日本国民のためにも。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月前の生産見通し、期間工・派遣工の採用見込み等から判断。
		製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しいが、この状況は当面継続すると思われる。
		建設業	特に変動を感じない。
		建設業	まだ9月だと、工事の発注が出始めの感があり、そんなに良くなっているとは思えない。やはり材料や燃料の高騰が続けば大変だと思う。
		金融業	受注の状況を見ても3か月後に増加する見込みがなく、売上高についても現状維持と判断される方々が多いため。
		サービス業（コンサルタント業）	関係先の賃金等に大きな変化がないので、景気に関しても大きな変化はないように思います。
雇用	人材派遣業	現在派遣先の会社が忙しくないため、派遣している人たちの残業などが少ない。	
	学校就業関係者	求人確保の動きが例年よりも早く、新たな事業所や工場建設の話も聞こえてきている。求職者（生徒）が少ない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	飲食業	これからはシーズンのあまり良くない。
		旅行会社	燃料の値上がりにより、出掛ける機会が更に減ると思う。
		旅行代理店	物価が下がる様子がありません。商店街が増々空き状況になり、シャッター通りが目立ちます。我々旅行関係者には、オリンピックで今までの不況を取り戻したい考えがありますが、それまで会社が生き残れるかわかりません。
		タクシー運転手	以前に比べて企業に来るお客様が減っている感じがする。
		ドライブイン	来店者からの何気ない会話から回復傾向にはない。
企業	農業関係者	9月は野菜の出荷の力がない。農業資材も動く時期ではない。	
	製造業（印刷・同関連業）	景気が良くなる要素が全く見当たらない。受注を多くする努力にも限りがある。生産性の向上なしの単価の切り下げでの受注も限界にきている。	
悪	家計	製茶販売	どんどん生活も苦しくなっているのに、この先良くなる要素が見つけれない。
		クリーニング店	今現在の状況が変化しないと期待できない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	わずかずつだが、商店や飲食店の閉店・廃業が続いている。飲食店の新規店はあっても、商店の新規店はほとんどない。
	スーパー	当店の近隣周辺では、新しい住宅地ができ始めている。逆に地区によっては過疎化が進んでおり、交通の便が良い地域に住民が移っているように見える。
	酒・各種商品小売業	Tポイント等ポイントサービスに敏感なお客が増えてきている印象がある。
	コンビニエンスストア	・ダブルワークの従業員が増えているため、生活に余裕のない方が増加 ・夜8時以降の客数減から、ライフサイクル変化による景気の衰退 ・女性の来客増から、女性向け食材や中食といった部分は景気の良さは伺えません。
	衣料品販売店	インターネットを利用する人が多くなっている。
	農産物直売所	鮎釣りが6月から解禁となったが、釣り人が例年より少ないように見受けられる。
	小売業（酒類）	県北地域の景気の良い話も聞かない。特に飲食店利用客が減少傾向。
	小売業（時計）	開店した店が近所にできたので、相乗効果を期待したい。
	レストラン	景気が良くなることを祈りたいです。
	ラーメン店	48年ラーメン店を商いとして二代目の私の目線から見て、老舗にも辛い時代は度々来ています。守るより新事業に力を入れて何かを始めないと土台もなくなってしまいう時代になったのかなと思います。界限でも一番飲食店の中では古く逆に廃業をしてしまった店が現状多い。銀行の出し渋りもあったのも事実ですが、姿・形を変えないスタイルだったので、仕方ない結果だと思います。安さを求める人は多く、大手が参入してくるのは、時代背景から見て当たり前だし、食や文化に対しての本来あるべき姿は形を変えてきています。逆に個人店でも海外に視野を向けて日本人の強みで勝負をしてみるのも良いのではと考え、私は、個人店から法人に切り替えました。
	スナック	引き続きエコカーの購入者が多くみられる。
	ラーメン店	50歳を過ぎてからの転職で給料が下がった人達が目立つようになった。
	観光型ホテル	必要なことにはお金を使いますが、目的の無いもの・ことには消費活動をしないと 思います。
	観光型ホテル	原油の値上げにより、燃料代や原材料の高騰が気になる。
	観光型ホテル	パートタイマーを求人しても人が集まらず、苦勞している。時給を上げれば集まる かもしれないが、売上げが伸び悩んでいる中でなかなか賃上げも難しい。
	タクシー運転手	働き方改革を推進されている以上、景気は望めない。
	タクシー運転手	最近日立市内でBRT（乗合バス）が営業を開始しました。低料金で乗車できるため、 タクシー業界には悪影響が懸念される。
	タクシー運転手	企業の残業制限で夜間深夜のタクシー利用が激減した。駅待ちタクシーの利用が 減った。
	タクシー運転手	自分たちの地区の飲食店も店を閉めている。
	レジャー施設	小売店の利用者の状況を見てみると、日替わりの安価な商品のみを購入する方が多 いと感じます。県北地域の景気は、ここ数か月は従来より低迷していると実感して いるところです。
ゴルフ場	首都圏の建設会社が人手不足で誰か紹介して下さいと言う人が増えた。	
ゴルフ場	①米朝会談の行方に関心が深まっている。 ②県北地域のコンビニ経営の二極化の傾向が広がっている。 ③ゴルフ業界の役割に対する姿勢が問われている。	
住宅販売会社	消費税の話が始めている。	
企業	林業関係者	木材の安価低迷とはあるが、山林の売買は活発で、出材量の増加とともに景気も上 がると思える。
	製造業（電気機械器具）	新卒採用難のためか、人材サービスの会社の営業の態度が以前より強気に感じま す。
	製造業（食料品）	お客様の店舗で買う品数が多い。特売品しか買わない人もいる。
	製造業（化学工業）	当社が出展する展示会等を見ても、元気のある会社が多い。採用においては大学生 の採用活動が厳しく完全に買い手市場になっている。
	製造業（電気機械器具）	いろいろな原材料が高騰しており、採算性に影響あり。
	製造業（輸送用機械器具）	米国は鋼材への輸入関税の増率導入に加え自動車に対しても25%の輸入関税をかけ る方針が決定したことによって、直接輸出減少に拍車が掛かり、国内景気悪化に繋 がることを心配する。
	製造業（精密機器）	新人求人の引き合いは少ない。中途入社希望の引き合い多し。
	製造業（精密機器）	取引先の情報ですが、車は20年までは横ばいで、特に日立は伸びない状況だと思 います。新しい開発が伸びてないからです。また、半導体はかなり良く増産になり ます。あと5年くらいは見通しが良いようです。車以外は良いようですが、先行き はまだ不明です。
	金融業	日立地区の人口減少が将来にわたって継続する不安を払拭するには、イベント等を 通じたアピールが有効だと思われま。
	不動産業	在庫物件の大幅値引きにて広告展開（チラシやホームページ掲載）を行ったところ、 問合せが急増したことから、価格や商品に大きな魅力が出せれば、顧客は動く と思われま。
	情報通信業（情報サービス業）	とにかく忙しい状況が続いていて、業界での人材不足や新卒採用が厳しいため、そ こを打破できればさらに業容拡大でき、景気ももっと上昇すると思ひます。
	運輸附帯サービス業	運送業で運転手不足から廃業を検討している等の噂が出ている。
雇用	求人広告	人材難を理由に状況悪化と言う話はよく聞くものの、それ相応の広告予算を割いて いる企業は多くないと感じる。
	公共職業安定所	来春就職者の求人が昨年より多い。毎年求人申込みされる事業所以外からの求人も 多い。
	求人開拓員	派遣会社の人事担当者・事業所の採用担当者が人材確保のため当センターに足を運 ぶ回数が非常に増えた。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	仕入先より、物流費用の値上がりに伴い仕切り価格の見直しや経費負担の交渉が相次いでいる。零細小売としては、値上げもできず、自らの利益を減少して対応するしかなく厳しい状況です。
	商店街代表者	来店するお客様は、できるだけ安く、早く欲しいと言われることが多い。以前は、金額が張っても良い品を選べれば多少日数が掛かってもしっかり仕上げてもらいたいと言われるお客様がいた。今は、なんでも簡単にすぐ手に入れたい人が多くなった。
	百貨店	高額商品の購入とお手頃商品の購入の二極化、中間部分が苦戦している。
	スーパー	イオンなどの大手スーパーが未だに値上げを行わないので、これからも景気が良くなると思わない。中小企業のスーパーでは太刀打ちできない。
	スーパー	菓子・一般食品の利用。
	スーパー	以前よりも更に簡便性、即食性の高い商品の売れ方が良くなってきている。
	スーパー	徐々にロードサイドにあるカーショップに行きましたが、以前に比べてお客様の数も少なく閑散としていました。車離れの影響か、カーアクセサリに興味が無いのか、ネット通販で済ませているのか分かりませんが、寂しさを感じながらも買い物をして帰ってきました。
	コンビニエンスストア	配偶者特別控除の枠が変わったことで、増えた収入分で欲しい物を買うため「働く時間を増やしたい」という声を聞くようになった。
	小売業	客数は減少傾向ですが、客単価が増加傾向です。
	自動車販売店	株価・為替がやや安定しつつ、ガソリンがやや高値になりつつあるので、HVを中心に代替が増加しつつあると感じられます。
	農産物直売所	スポットで大量の注文が来ても、パートスタッフ不足から対応できない時が出てきている。
	割烹料理店	今まで安く提供できていた食材（イカやアジなど）値段が高騰していて今までのように提供できない。
	観光型ホテル	海外からのお客様は微増、国内旅行は下降気味、今後団塊世代の年齢が上がるにつれ減少が続くと思われる。
	旅行会社	給料も上がらず、ボーナスも出ない。年々生活が苦しくなっています。
	タクシー会社	4月に発表された茨城県の経済情勢（財務局）では、緩やかに回復と報告されているが、一方で取引先のホールが直営店を廃止して施設の賃貸に移行しているところもある。こうした経営のスリム化が顕著になると景気の停滞が心配される。
	タクシー会社	子育て支援「ママサポートタクシー」の登録件数が大幅に増加し、ご利用も陣痛時や通院・買い物等により、登録者の約6割以上の方が利用されています。現在は、特定地域限定にて受付していますが、本事業の地域拡大によりご利用登録者が増加すると判断しています。子育てにやさしく便利な地域のPRを県外に発信して、定住人口を増加させることが大切な取組みと位置づけて利用者の意見を反映しつつ取組強化を図っていきます。
	観光名所	外国人旅行者は販売の単価が高いため、利益に繋がっている。
	ゴルフ場	数日前に社用車の給油に行ったところ、1～2週間前に比べ5円以上もガソリン価格が上がっていた。燃料費の上昇が懸念される。
	スーパー銭湯	財布の紐が緩い人と堅い人がはっきりしてきているように感じられます。
	ペット美容室	この職種においてですが、団塊の世代の方たちが大型犬または小型犬をずっと飼っていたとして、その子たちの寿命がきてまた次の子という訳にはいきませんよね。犬の命が20歳として、人間の方が先に逝ってしまうので、飼われているワンコたちの数もぐんと減ってきていることは否めません。動物病院、美容室、その他愛玩犬に属する職業はそれに反比例して増えてきています。
企業	製造業（食料品）	建設業は上向きになってきたように感じる。
	製造業（印刷・同関連業）	価格競争が激化しているように感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	業界自体が疲弊している。仕事がない。
	製造業（一般機械器具）	ガソリンがまた上がり始め、どこまで上がるのか！大塚町に大きな住宅、団地建設が始まっています。ゴルフ場も平日でも沢山入っています。
	製造業（精密機械器具）	これまで、OEM先からOEM製品の製品仕様やロット数の変更などは減多にありませんでしたが、ここ最近では、良い意味での諸変更要求が多くなっています。
	建設業	首都圏のうねりが身の回りに感じ取れない。現在の経済情勢は効率を求めているのか局所の動きに限られているようだ。
	運輸業（道路貨物運送業）	燃料価格が上昇しているのが気がかりである。
	金融業	西武筑波店が閉店し、県内の百貨店は水戸の京成百貨店のみとなっているなか、中元商戦が賑わっており、一定の富裕層において消費活動が盛んであるように感じられます。
	不動産業	建売りや分譲地が笠原周辺で増えており、20代後半ぐらいの方から自宅の購入を考えている傾向が見られる。
	サービス業（広告業）	歓楽街の出入が、極端に少ないと思う。ほとんど歩いている客もいないが、人気のある店には客がいるが、そうではない店は平日客ゼロなどということも聞く。個人収入が上がっていないのと、接待費が出ない影響がある。
工務店	茨城空港の韓国への定期便の就航が決まった。	
雇用	公共職業安定所	小売業や宿泊・飲食サービス業では、人手不足にもかかわらず採用意欲の低下傾向がみられ、新規求人数が4か月連続で前年同月を下回った。新たな人材を確保するための人件費高騰についていけなくなったことや求人への応募者の少なさから、募集を諦めて営業時間の短縮や休業日の設定など事業を縮小する動きがある。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	建設業界、消費税のアップ前の影響なのか住宅・アパートの建設件数が増えているように思われる。一方で職人不足は身近な事業者から耳にする。
	スーパー	人手不足が深刻化してきている。求人活動は常時行っているが、採用がなかなかできない状況。
	コンビニエンスストア	今年度の定期修理が例年より規模が大きい。
	衣料品販売店	数年前よりも少しずつお金を使わない過ごし方をしている人がいるように思える。
	家電販売店	前回も同様かと思うが購入時期にメリハリが出てきたように感じる。ボーナスのように収入が多い時期、新生活時期のように必要性がある時に購入意欲が高まり、それ以外の時期の財布の紐は固い。
	農産物直売所	メディアの力が大きい。テレビで放映されたら翌日から客数が増える。
	小売業（薬品店）	来年の国体に向けた動きが少し見られ、景気の押し上げが期待できると思われる。
	小売業（食品）	来月解禁するわかさぎ・しらうおの漁獲量が心配です。これによってこの地域の活発さが変わるのです。
	小売業	新築のアパート（コーポ・マンション）が次から次に建設されている。良いことだとは思いますが、既存のアパートは空き室が多数出ているようだ。
	小売業（書店）	近くに新しい店ができて、数か月で客入りが悪くなる。
	和食レストラン	実感が伴った景気回復が見られれば客単価も上がっていくと思われるが、依然財布の紐は固め。（飲食の場合はデザート等の注文で顕著に現れますが未だです。）
	洋食食堂	市内の何か所かで道路工事（都市ガス工事）があり渋滞が多発している。移動時間にも影響が出ている。 当地の名産品の出荷時期となり（イベント等もあり）土日の来店客数が増えている。（他市町村・他県からもあり）
	割烹料理店	コンビナートの定期修理の時期で、人は増えているが、（職人さんの）夜の外出が禁止だと聞いたので、その人達がお金を使ってくれたら助かるのにと思う。
	日本料理店	新規出店は大企業が目立つが、大企業でも苦戦している。売上げが見込めない時はグループ企業の違うブランドで出すなどしているのでは、全体的に見れば横ばいのような感じがします。
	海鮮料理店	人数が多くても、昔と比べると、人数の割には利益がない宴会等が減少している。当店の近くには、居酒屋・大手チェーン（寿司屋・焼肉等）があり、食事の仕方が変わりました。子どもを連れて居酒屋へ行く時代、メリハリが無い時代です。
	タクシー運転手	乗務員不足の深刻化等があり、これも若い人がいないため。生活が安定できるような仕組みが必要。景気だけの問題ではない。外の改善よりも内部改善が必要ではないか。
	ドライブイン	今年は、花の名所がほぼ例年より早く開花したため、観光時期がややずれてしまった。
ゴルフ場	産経新聞でも取り上げられたが、全国でゴルフ場の倒産が急増している。4月時点で既に13件に上り、リーマンショックがあった平成20年を上回るペースとのこと。若者のゴルフ離れによる利用者数の低迷がある。	
クリーニング店	外国人労働者は色々な所で見られるが、資格（車の整備士）を持った外国人がいた。そういう外国人が増えると思います。以前は中国人、フィリピン人が多かったが近頃は、カンボジア、インドネシア、ネパール、ラオスなどの国の人がいる。	
企業	農業関係者	顧客が昨年より若干増え、売上げも増加し、さらに平均客単価も昨年より高くなっていることから、消費者の購買意欲は昨年よりあるように思える。
	製造業（食料品）	温暖化の影響とみられる近海の海水温上昇で魚群の北上が早くなり、本来は盛漁期である「入梅イワシ」の水揚げが減少することは、我々地元経済への負の影響が大きい。
	製造業（電気機械器具）	様々な業種で良くなりつつある気配を感じる。
	製造業（金属製品）	個人収入増が見込まれるので、消費に少しは貢献すると思われる。
	建設業	建設業界の相変わらず3Kのイメージは払拭されず、日本人の若い労働力確保はなかなか難しいものがあります。必然的に、外国人実習生の労働力に頼らざるを得ませんが、受け入れ制度が変更される度に、対応に追われます。
	金融業	大規模な定期修理が行われ、県外から関係業者が宿泊施設や飲食店を利用しており、一部業種に限っては一時的に賑わいを見せております。
	内装工事業	車の車検で早期予約割引、リピーター割引、そして整備工賃など他社との価格競争で格安をうたっているが、いざ部品交換、オイルなどを見積もると驚くほど高いのでビックリ。
雇用	人材派遣業	・現時点では、特に特徴的な動きはみえない。 ・物価が徐々に上がってきているので、消費者の購買力が何となく下がっている感じあり。
	民間職業紹介業	最近、外国籍（在留資格者）への求人も増加傾向にある。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	外国の労働者（客数）が増えている。
	家電販売店	特に変化は感じられない。
	スーパー	アニサキスの影響で「生かつお」の売上げが不振。
	スーパー	ポイントカード導入後、1年半たちますが、客単価は僅かながら上昇しています。
	スーパー	夏ギフトなどの動きも例年に比べて鈍い。
	小売業	GWではある程度好天にも恵まれたが、商業施設への来店は多かった。行楽地で消費する大きさを考えると、手軽に時間を消費できる方に足が向いたのでしょうか。
	小売業（生花店）	飲食業パート従業員募集金額が¥1300/hがだいぶ見かけようになってきたが、貼り紙が外れないことから、募集に対して希望者が少ないようだ。
	小売業（米穀）	コンビニがドラッグストアに苦戦しているように思います。
	和食食堂	特に動きは見られない。景気が良くなりそうな現象は今のところない。
	洋食食堂	足場工事関係の経営者（40代）ファミリーの仕事が成功している。お金の使い方がリッチ。
	寿司店	65歳以上の人口が私の街は半分位になってしまい、ショッピングセンターもシャッターが下がっている所が多く、営業している店も6時半～7時半くらいにほとんどシャッターを下ろしている。
	都市型ホテル	ブライダルマーケットとしては、人口動態からも前年度同件数でも人数の減少から、売上げも比例して減少となっている。これからの傾向として厳しい状況である。
	旅行代理店	レジャーに対する消費の前向き感が鈍い。何か警戒が感じられる。
	タクシー運転手	ネットでの通販を利用する方が増えたのか、小売店はチェーン店ばかりになったと感じる。
	企業	サービスエリア
ゴルフ場		3か月先までの予約を受け付けているが、コンペなど、例年開催の行事として安定した申し込みを受けている。
ゴルフ場		6月に台風が発生した。台風の予報に伴い予約がキャンセルされる。近年は「例年通り」という言葉が使いつらくなっている。サービス業にも大きく影響する春夏秋冬がはっきりとせず、夏と冬が重きを占めているように思われる。
工場見学案内		茨城空港台湾便からのお客様が多くなってきている。到着後に来場、または帰る前に来場と、空港アクセスの良いことが影響している。
理・美容店		ガソリンの値上がりはとてもしんどいと思う。みんながみんなハイブリットに乗っている訳ではないので。
設計事務所		見学会を開催すると、2階建てよりも平屋建ての方に客足が伸びている。
農業関係者		若い人でも健康に関連する食品やドリンクを購入している方が、意外にも多いことに気付く。
製造業（食料品）		建売住宅の販売が鈍っているように感じる。
製造業（家具・装備品）		小規模企業・小売業の方々の廃業が少しずつ多くなっています。寂しいかぎりです。
製造業（窯業・土石製品）		働き方改革の時間制限などによる人手不足の影響で工事が遅れ気味である。
企業	製造業（非鉄金属）	人手不足がやや解消。4月頃から採用状況が改善している。
	建設業	近所の居酒屋に週に何回か行くが、昨年あたりは平日のお客さんがそれほどでもなかった。この頃いつ行っても結構席が埋まっている。他の寿司屋なども時々行くが、平日でもお客が多い。景気はだんだん良くなってきているのだろう。
	不動産業	つくば市はTX沿線開発周辺が活発に動いている。周辺市町村に比べて好況だと思う。
	建設業	市内の飲食店（いつも行っている6～7件）は週末予約しないと入れないなど混雑している。
	金融業	平成30年10月15日～19日まで「第17回 世界湖沼会議 いばらき霞ヶ浦2018」がつくば国際会議場他で開催されるため、霞ヶ浦、涸沼、千波湖に隣接する市町で、世界湖沼会議のサテライト会場としてシンポジウムや事例発表会と併せ、環境フェア等の環境関連行事を開催する。
雇用	人材派遣業	人材不足から、派遣を新規で利用する企業が増えているように思えるが、派遣も人材確保が困難になってきている。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	市の活性化のイベント（朝市）があった。イベント等の時は、どこからこんなに人が来るのだろうと思うほど賑やかだった。
	商店街代表者	景気に関するのではないが、当店のよう小さな店でもカード使用者が目に見えて多くなってきた。配達も、カードを現地で対応出来るシステムを構築した。
	スーパー	イベントや特売の強い価格の日はお客様に多くご来店いただけます。競争店が増えた事が原因なのかは定かではないが、曜日によって集客の差が大きくなっています。
	コンビニエンスストア	近隣の環境に変化は見られません。
	ホームセンター	ネット販売の情報をもとに比較して購入を検討するお客が増えている。
	製茶販売	シャッター商店街が増えている。政府はこの状況をどう考えているのか聞いてみたい。
	レストラン	全体的にお客は価格に敏感だと思う。私の店では土日もランチに平日と同じ価格でコーヒー・デザート等のサービスを続けているが土日が一番混む。他の店ではランチサービスは外している。
	日本料理店	飲食業も人手不足、材料の値上げ、人件費の高騰などますます厳しい時代になりそう。
	都市型ホテル	近くの飲食店（50～60人の宴会場完備）が閉店してしまった。
	旅行代理店	お金は”天下の回りもの”と昔から言われますが、今は”つかんだら離さない”とか”つかむ前に飛んで行く”と言われてます。右から左へ流れて貯金もできないとの話を聞きます。年金だけでは生活できない老人はこれからどうすればよいのか。
	タクシー運転手	最近夜の仕事が少ない。飲食店も店を閉じているところが多いし、早い時間で店も閉めている。
	ゴルフ場	常磐道の渋滞が緩和しているように感じる。（三郷IC）外環から市川への開通効果だと感じる。
	商店街代表者	消費者の財布のひもは固いようで、余分な支出は控えているように思える。
	企業	製造業（窯業・土石製品）
製造業（印刷・同関連業）		大手の自動車メーカーが、本格的に稼働し始めたためか、いくつかある工業団地の景気が良くなったせいか、大手と地元資本も含め、ホテルの建設が続いている。地元の下請けの建設関係や飲食業が恩恵を受けている。結構なことだが、今更ではないが地元の小売業の閉店も相変わらず続いている。残念なことだ。
製造業（窯業・土石製品）		今週、金融機関の経営研究会の総会で、経営に関する講習会に出席したところ、非常に勉強になり、やる気が倍増しました。理由は、着物・和服・呉服を生業にしている業者は廃業はおろか倒産しているのが現状にも関わらず、講師の会社は斜陽産業なのに売上げを伸ばし、かつ利益を増やしているとのことでした。やはり、何でもやり方次第。打つ手は常に無限にあります。何か方法はあるのだと感動しました。
製造業（金属製品）		大手発注企業を中心に「何かやろう…」という動きを感じ取れる。
建設業		工事の代理人の人数不足で、工事にエントリー出来ないで残念な場合がある。労務の不足で外国人を雇う所が増えてきている。
金融業		圏央道の影響なのか、道の駅のマルシェが賑わっている。
不動産業		賃貸を解約し、購入を考える人が増加。
サービス業（コンサルタント業）		あまり変化はないように思いますが、過去に比べ賑わいがでてきたような気がします。
雇用	求人広告	お客様のところへ向かう途中に大型トラックを見かけることが多くなった。今まで少なくともなかったが、特に最近増えている気がする。工業団地へ出入りしているトラックも増えていて、物量も増えていると感じられる。
	学校就業関係者	県外からの求人が多く、どこの企業でも人手不足であるようだ。休日の外食産業がにぎわっている。